

令和6年度 沖縄地方最低賃金審議会

第4回沖縄地方最低賃金審議会専門部会 参考資料一覧

- 1 那覇市の消費者物価指数 (令和6年6月分)「沖縄県企画部統計課」
P 1 ~ P 6
- 2 おきぎん経済研究所
・おきぎん県内景況・確報 (2024年6月分)
P 7 ~ P20
- 3 りゅうぎん経済研究所 県内の景気動向 概況 (2024年6月)
P21 ~ P39

那覇市の消費者物価指数(令和6年6月分)

1 概況

- (1) 総合指数は令和2年を100として109.9となり、前月比で0.1%の下落、前年同月比で2.1%の上昇となった。
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は109.3となり、前月比で増減なし、前年同月比で2.0%の上昇となった。

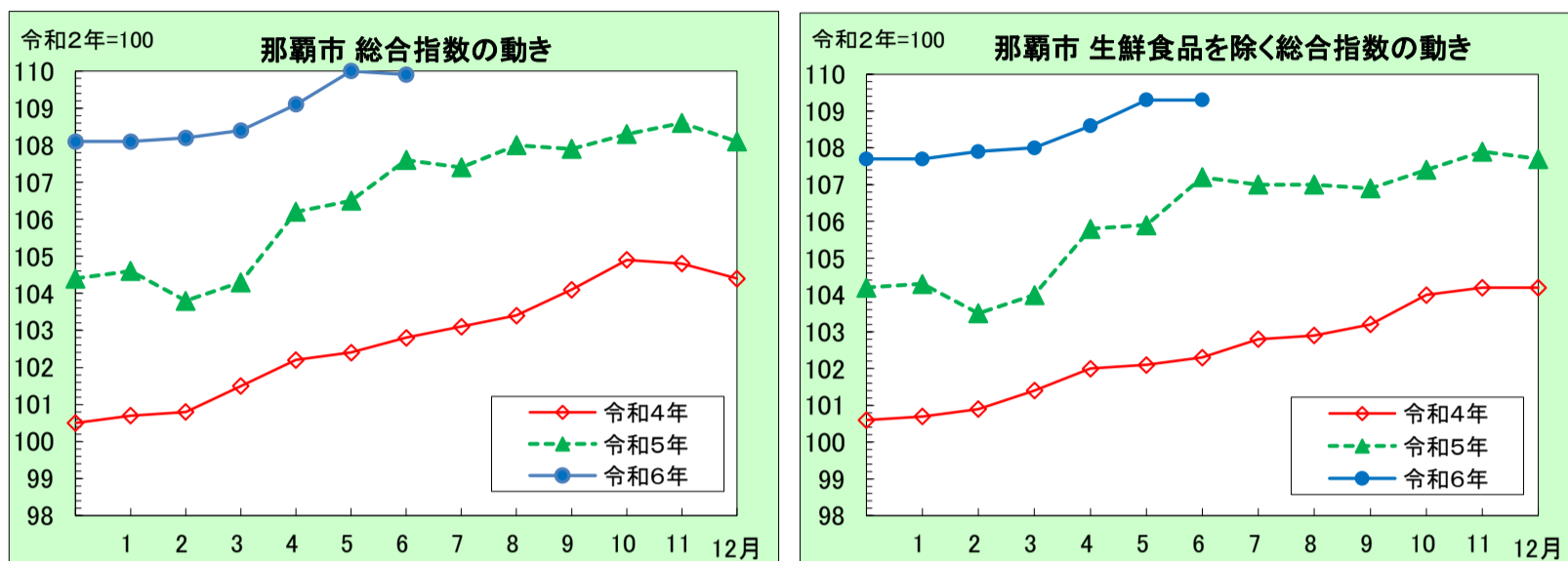


表1 那覇市の総合と生鮮食品を除く総合の前月比及び前年同月比

令和06年

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総合	指数	107.4	108.0	107.9	108.3	108.6	108.1	108.1	108.2	108.4	109.1	110.0	109.9
	前月比	▲ 0.2	0.6	▲ 0.1	0.3	0.3	▲ 0.4	0.0	0.1	0.2	0.6	0.9	▲ 0.1
	前年同月比	4.2	4.5	3.7	3.3	3.6	3.6	3.3	4.3	3.9	2.7	3.4	2.1
生鮮食品を除く総合	指数	107.0	107.0	106.9	107.4	107.9	107.7	107.7	107.9	108.0	108.6	109.3	109.3
	前月比	▲ 0.2	0.1	▲ 0.1	0.4	0.5	▲ 0.1	0.0	0.1	0.1	0.6	0.6	0.0
	前年同月比	4.1	4.1	3.6	3.3	3.6	3.4	3.3	4.3	3.8	2.6	3.2	2.0

(注) ▲はマイナスを表す

(%)

2 前月からの動き

表2 10大費目指数、前月比及び寄与度

	総合	生鮮食品を除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	109.9	109.3	119.9	122.3	103.7	115.8	119.1	113.7	104.2	96.0	102.6	108.1	105.2
前月比(%)	▲ 0.1	0.0	▲ 0.6	▲ 2.9	0.0	1.9	▲ 2.1	0.8	0.2	0.3	▲ 0.6	▲ 0.9	0.1
寄与度	▲ 0.14	0.00	▲ 0.20	▲ 0.15	0.00	0.16	▲ 0.09	0.02	0.01	0.03	▲ 0.01	▲ 0.06	0.01

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前月比が0.1%の下落となった内訳を寄与度で見ると、食料、家具・家事用品などが要因となっている。なお、光熱・水道などは上昇した。

〔主な内訳〕	10大費目	中分類、前月比(寄与度)
下落	食料	生鮮食品 -2.9%(-0.15)
	家具・家事用品	家庭用耐久財 -4.0%(-0.06)
上昇	光熱・水道	電気代 6.7%(0.29)

3 前年同月との比較

表3 10大費目指数、前年同月比及び寄与度

	総合	生鮮食品 を除く総合	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及 び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
前年同月 比(%)	2.1	2.0	3.2	5.0	1.0	▲ 2.1	3.8	5.2	1.0	3.5	1.3	3.3	1.2
寄与度	2.11	1.87	1.02	0.24	0.21	▲ 0.19	0.16	0.14	0.04	0.39	0.03	0.23	0.07

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前年同月比が2.1%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、食料、交通・通信などが要因となっている。
なお、光熱・水道は下落した。

〔主な内訳〕	10大費目	中分類、前年同月比(寄与度)
上昇	食料	… 穀類 10.3%(0.29)
	交通・通信	… 自動車等関係費 3.6%(0.24)
下落	光熱・水道	… 電気代 -2.3%(-0.11)

沖縄県の消費者物価指数(令和6年6月分)

1 概況

(1) 総合指数は令和2年を100として109.5となり、前月比で-0.1%、前年同月比で2.1%の上昇となった。

(2) 生鮮食品を除く総合指数は109.0となり、前月比で0.1%の上昇、前年同月比で2.0%の上昇となった。

※小数点第二位以下の影響により、結果に誤差があるように見える場合もございます。

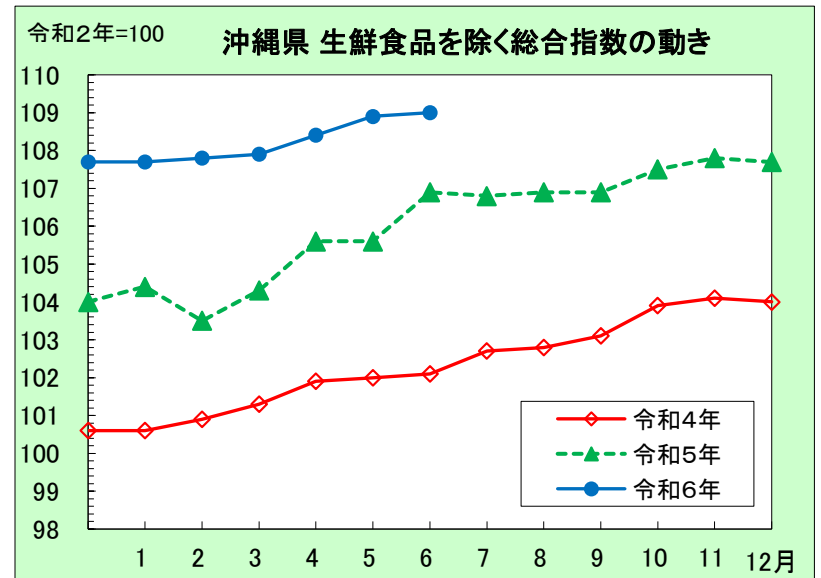
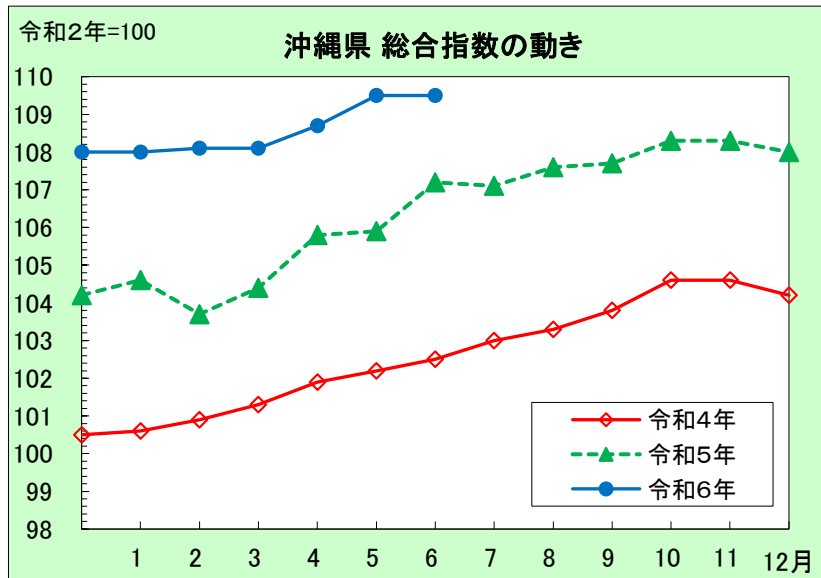


表1 沖縄県の総合と生鮮食品を除く総合の前月比及び前年同月比

令和06年

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総合	指数	107.1	107.6	107.7	108.3	108.3	108.0	108.0	108.1	108.1	108.7	109.5	109.5
	前月比(%)	0.0	0.4	0.1	0.6	0.0	▲ 0.3	0.0	0.1	0.0	0.6	0.7	▲ 0.1
	前年同月比(%)	4.0	4.2	3.7	3.5	3.6	3.6	3.2	4.3	3.5	2.8	3.4	2.1
生鮮食品を除く総合	指数	106.8	106.9	106.9	107.5	107.8	107.7	107.7	107.8	107.9	108.4	108.9	109.0
	前月比(%)	▲ 0.1	0.0	0.0	0.6	0.2	▲ 0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.5	0.1
	前年同月比(%)	4.0	3.9	3.6	3.5	3.5	3.5	3.2	4.2	3.5	2.6	3.2	2.0

(注) ▲はマイナスを表す

(%)

2 前月からの動き

表2 10大費目指数、前月比及び寄与度

	総合	生鮮食品を除く総合	食料		住居	光熱・水道	家具・家事用品		被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
			生鮮食品	食料			家具・家事用品	家具・家事用品						
指数	109.5	109.0	119.4	119.1	102.3	116.0	119.6	113.9	103.5	96.3	103.8	108.9	105.9	
前月比(%)	▲ 0.1	0.1	▲ 0.6	▲ 2.8	0.0	2.7	▲ 1.9	0.8	0.2	0.1	0.5	▲ 0.9	0.1	
寄与度	▲ 0.06	0.08	▲ 0.20	▲ 0.13	0.00	0.24	▲ 0.09	0.03	0.01	0.01	0.01	▲ 0.07	0.01	

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前月比が0.1%の下落となった内訳を寄与度で見ると食料、家具・家事用品などが要因となっている。
なお、光熱・水道などは上昇した。

〔主な内訳〕	10大費目	中分類, 前月比(寄与度)
下落	食料	生鮮食品 -2.8%(-0.13)
	家具・家事用品	家庭用耐久財 -3.9%(-0.05)
上昇	光熱・水道	電気代 6.7%(0.32)

3 前年同月との比較

表3 10大費目指数、前年同月比及び寄与度

	総合	生鮮食品 を除く総合	食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
前年同 月比 (%)	2.1	2.0	3.2	5.1	0.8	▲ 2.6	4.4	5.2	0.7	3.0	2.5	4.0	1.4
寄与度	2.10	1.87	1.01	0.24	0.16	▲ 0.24	0.20	0.16	0.03	0.37	0.06	0.29	0.07

(注) ▲はマイナスを表す

総合指数の前年同月比が2.1%の上昇となった内訳を寄与度で見ると、食料、交通・通信などが要因となっている。

〔主な内訳〕	10大費目	中分類, 前年同月比(寄与度)
上昇	食料	… 穀類 8.0%(0.22)
	交通・通信	… 自動車等関係費 3.0%(0.25)
下落	光熱・水道	… 電気代 -2.3%(-0.12)



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2024年7月30日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・確報（2024年6月分）

◎ 県内景況は、回復している。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

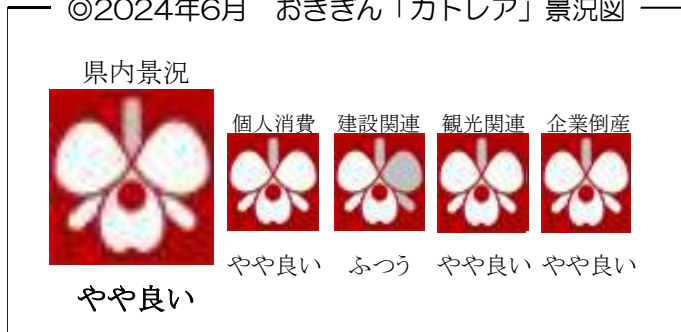
※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報（2024年6月分）

◎2024年6月 おきぎん「カトリア」景況図



概況：県内景況は、回復している。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を下回りました。中古車販売台数は、前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を上回り、セメントは下回りました。

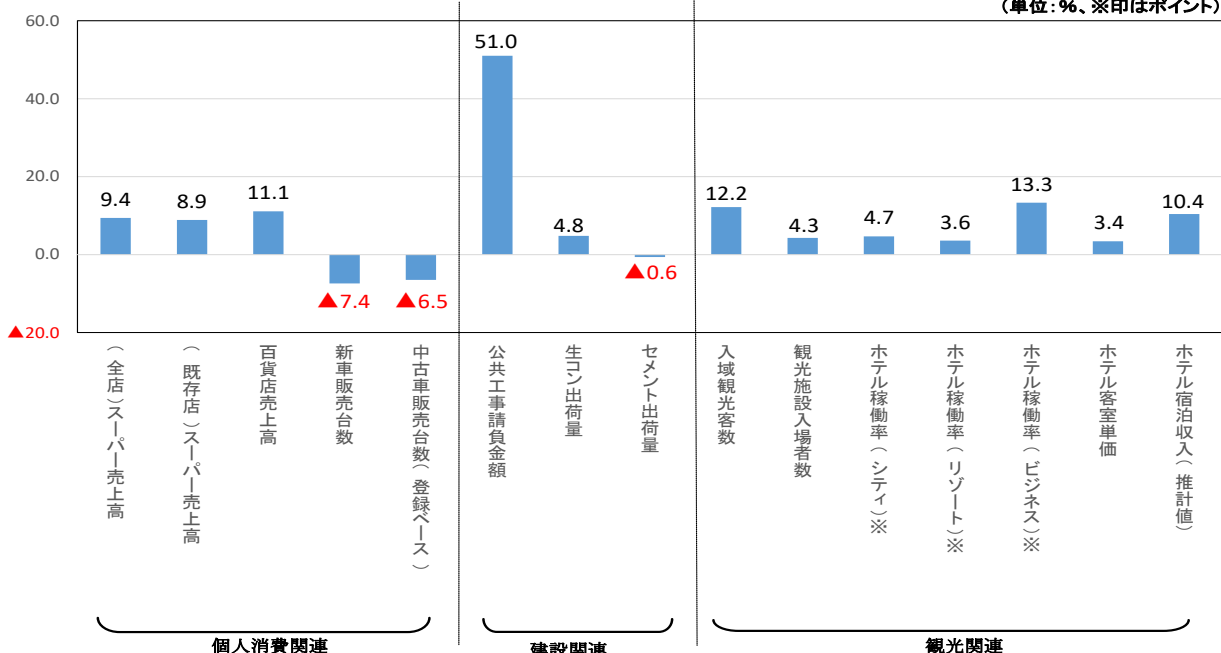
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、公共関連は概ね堅調に推移し、民間関連はこのところ弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから回復しています。よって、「県内景況は、回復している」と景気判断を据え置きました。

(2023年10月の上方修正から9か月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比(増減率)

(単位: %、※印はポイント)



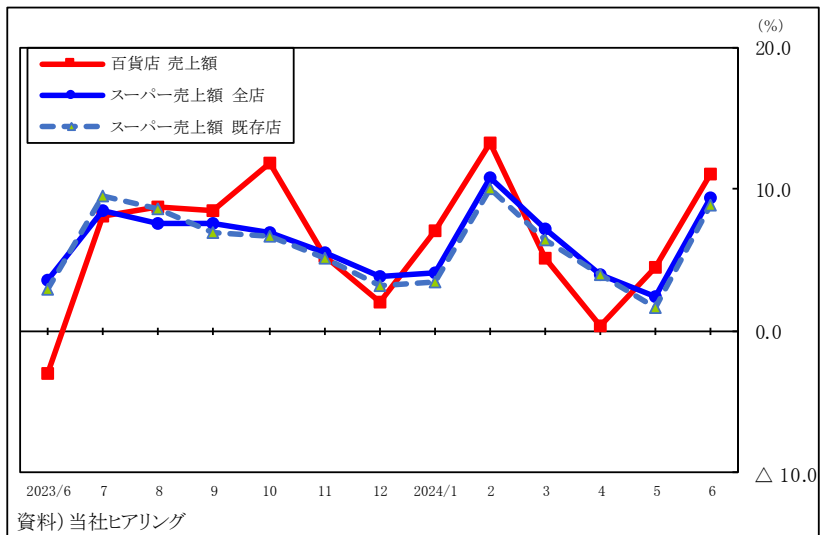


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2023/6	3.6	3.0	△ 3.0
7	8.5	9.6	8.1
8	7.6	8.6	8.8
9	7.6	6.9	8.5
10	7.0	6.7	11.8
11	5.5	5.1	5.3
12	3.8	3.2	2.0
2024/1	4.1	3.5	7.1
2	10.8	10.1	13.3
3	7.2	6.4	5.2
4	4.0	4.0	0.4
5	2.5	1.7	4.5
6	9.4	8.9	11.1



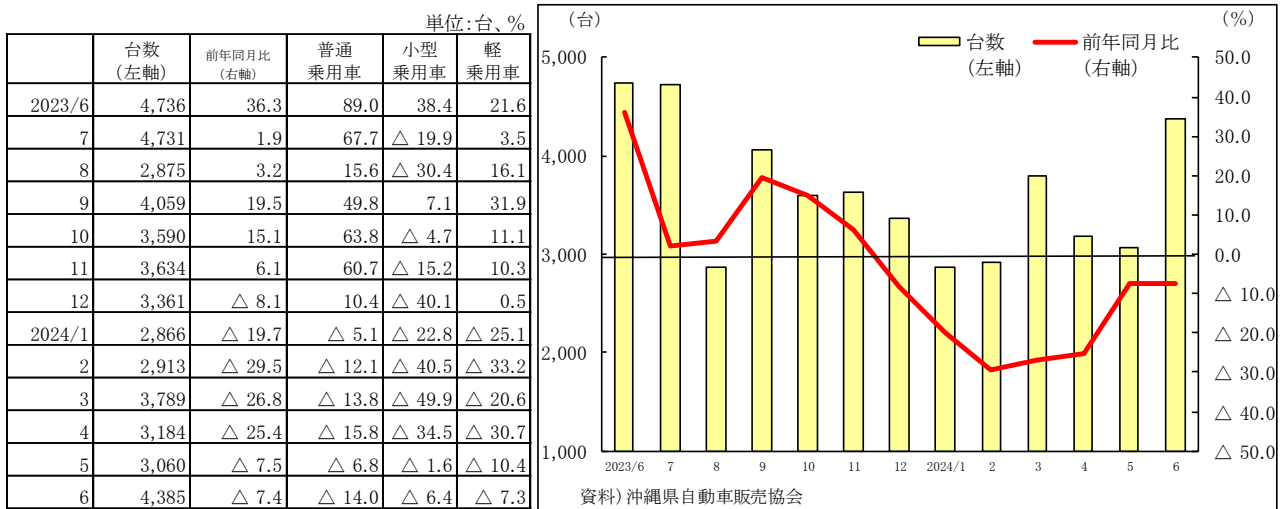
注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 9.4%増)」は、25 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 8.8%増)」は、前年の台風による一部休業の反動や物価高の影響などにより前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 12.9%増)」は、前年の反動や店舗数の増加、県の省エネ施策による売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 10.8%増)」は、前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 8.9%増)」は、25 ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 8.4%増)」、「家庭用品(同 10.7%増)」、「衣料品(同 11.5%増)」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、12 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 11.1%増)。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 25.2%増)」は、催事企画の好調等により前年同月を上回りました。「食堂喫茶(同 15.9%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 6.9%増)」、「雑貨(同 11.2%増)」は、免税売り上げ増加やセール企画実施などにより前年同月を上回りました。

② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

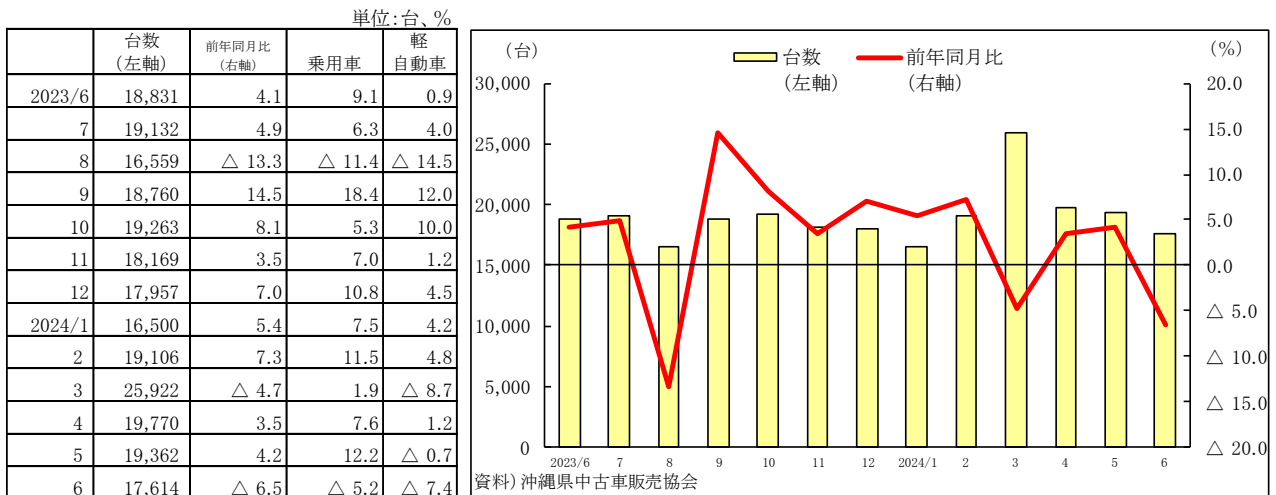


注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で4,385台(同7.4%減)となり、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同14.0%減)」、「小型乗用車(同6.4%減)」、「軽乗用車(同7.3%減)」ともに、一部メーカーの出荷停止や新規レンタカー登録台数の減少などにより前年同月を下回りました。

③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。

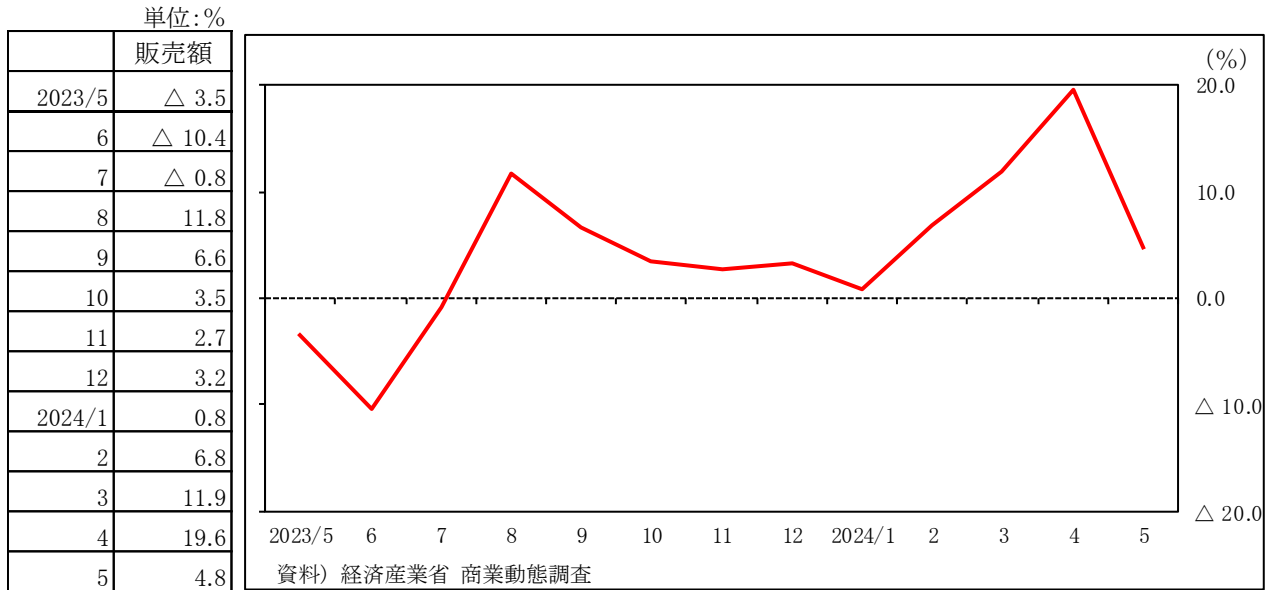


注) 前年同月比

注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で17,614台(同6.5%減)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同5.2%減)」、「軽自動車(同7.4%減)」は、ともに前年同月を下回りました。

④ 【参考：5月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



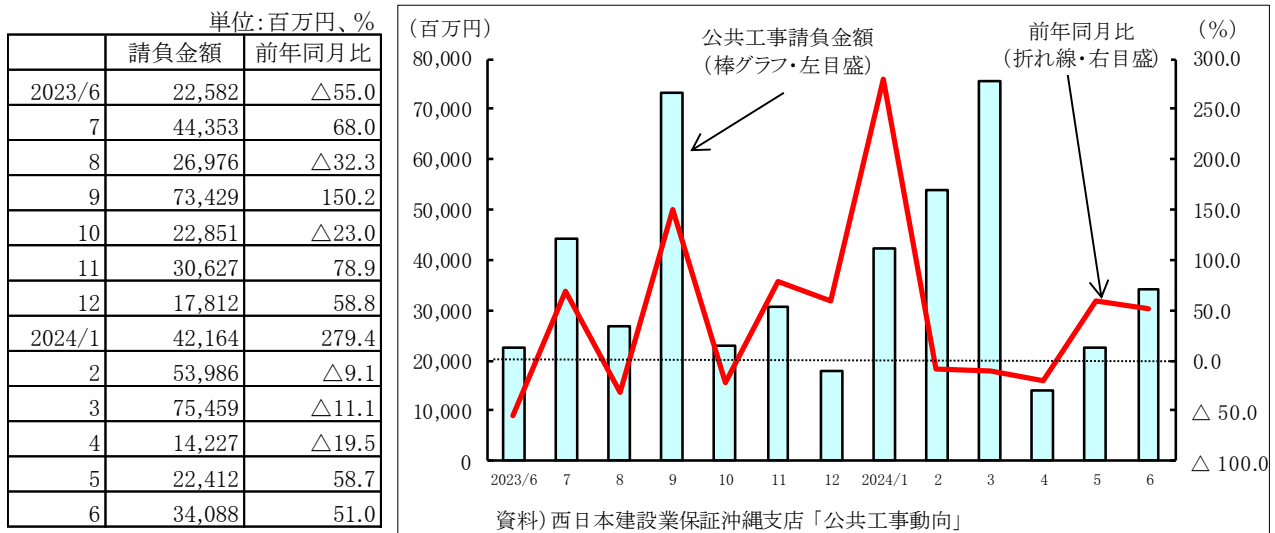
注) 前年同月比

5月の大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

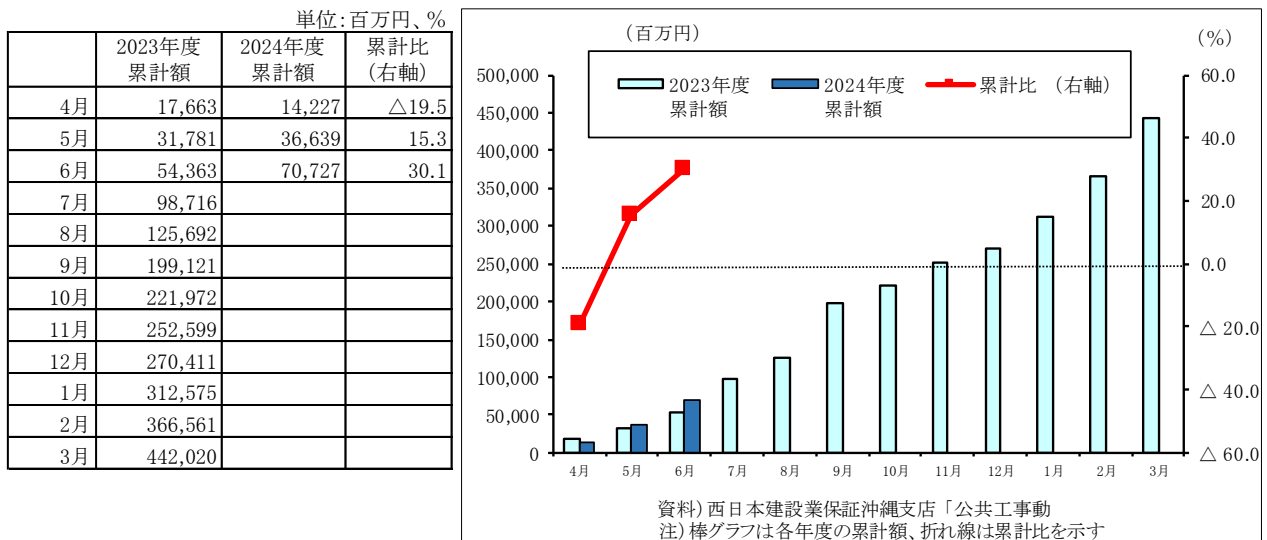


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。

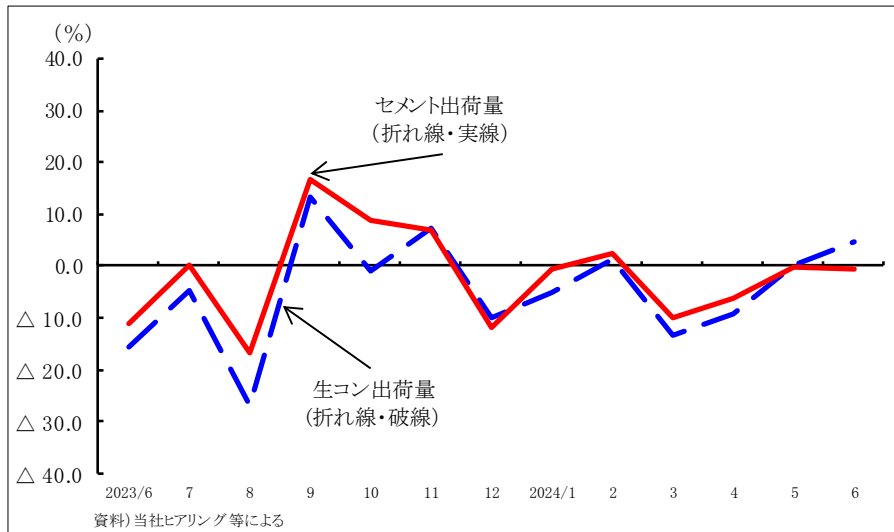


6月の公共工事請負金額は、前年同月比 51.0%増の 340 億 8,800 万円となりました(2ヵ月連続で増)。発注者別でみると、「国(同 107.3%増)」、「その他の公共的団体(232.7%増)」、「市町村(同 18.6%増)」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県(同 25.9%減)」は前年同月を下回りました。

② 建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

単位:前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2023/6	△ 15.7	△ 11.3
7	△ 4.7	0.0
8	△ 26.9	△ 16.6
9	13.2	16.6
10	△ 1.0	8.6
11	7.2	6.9
12	△ 9.9	△ 12.0
2024/1	△ 5.2	△ 0.5
2	1.4	2.4
3	△ 13.5	△ 10.1
4	△ 9.2	△ 6.2
5	0.1	△ 0.4
6	4.8	△ 0.6



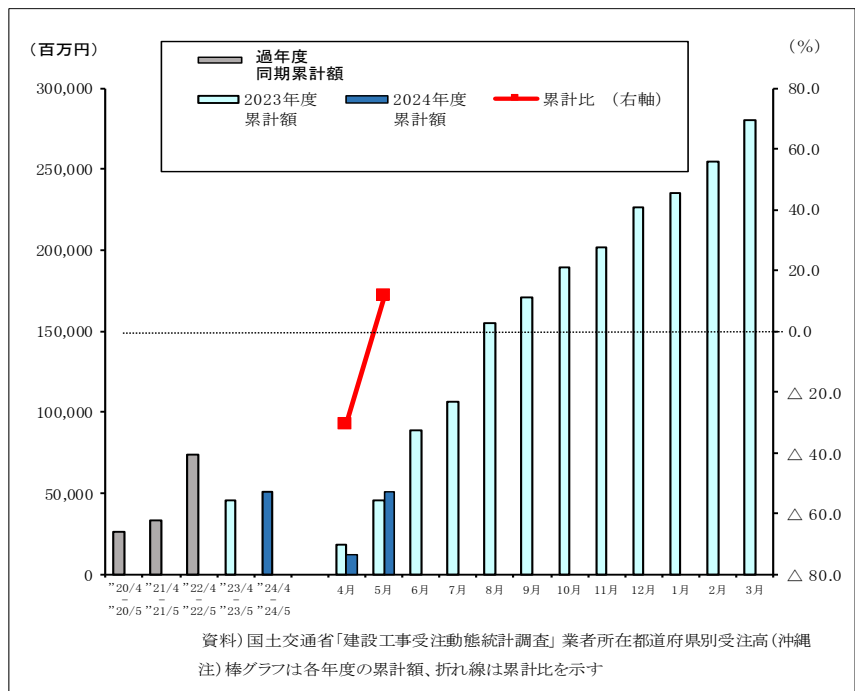
(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は 4.8%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、北部地区、石垣地区、宮古地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 8.8%上回りました。民間工事向けは、石垣地区、宮古地区、北部地区での出荷が増加したことなどから前年同月を 2.8%上回りました。セメントの出荷量は、0.6%減と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ 【参考】民間等元請受注 (年度累計) …前年同期を上回る。

単位:百万円、%

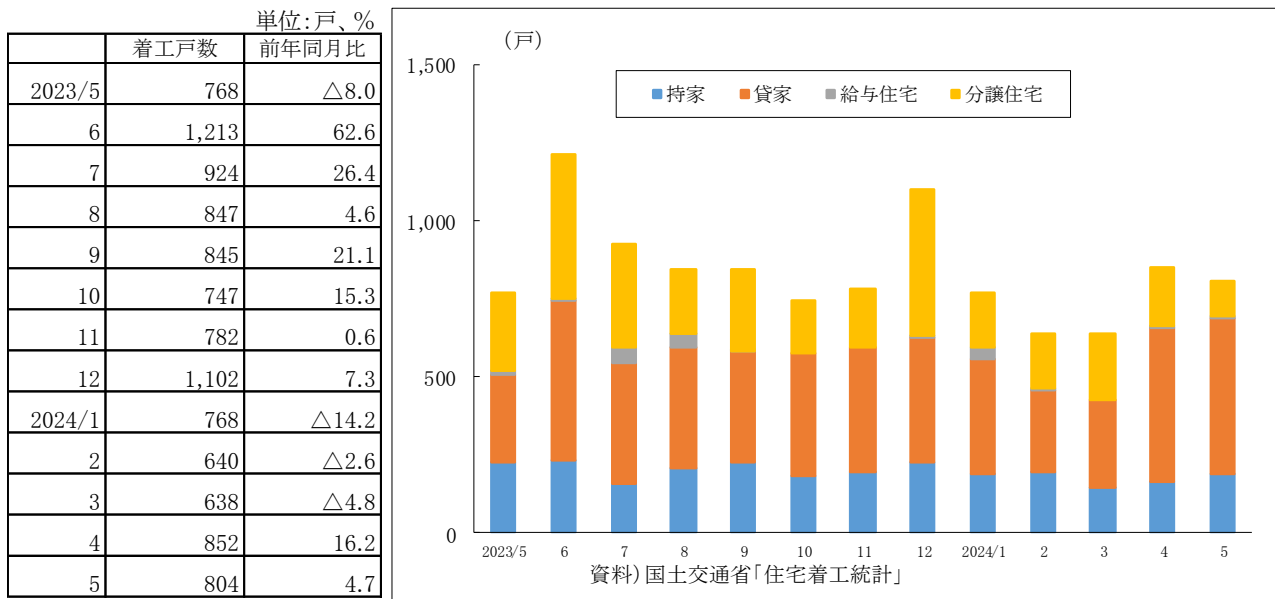
	累計額		
''20/4			
-''20/5	26,089		
''21/4			
-''21/5	33,270		
''22/4			
-''22/5	73,695		
''23/4			
-''23/5	45,654		
''24/4			
-''24/5	51,037		
	2023年度 累計額	2024年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	18,069	12,551	△30.5
5月	45,654	51,037	11.8
6月	88,815		
7月	106,797		
8月	155,056		
9月	170,863		
10月	189,095		
11月	202,154		
12月	226,690		
1月	235,764		
2月	254,964		
3月	279,940		



資料) 国土交通省「建設工事受注動態統計調査」業者所在都道府県別受注高(沖縄注) 棒グラフは各年度の累計額、折れ線は累計比を示す

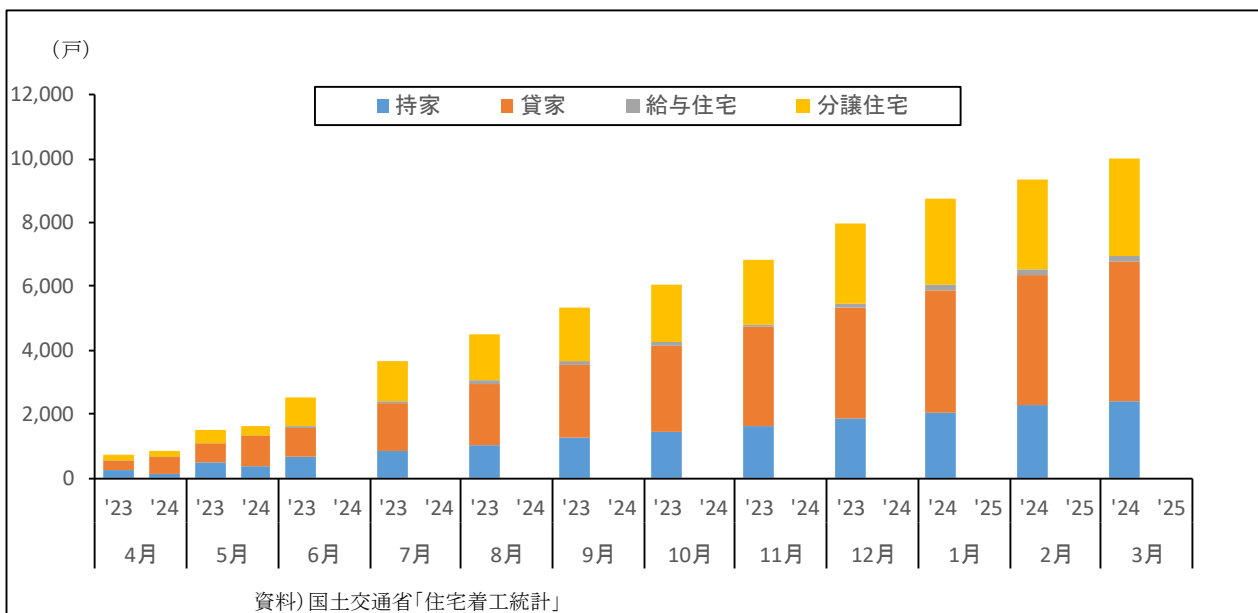
2024年度累計値では、11.8%増となっています。

④ 【参考】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。



5月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比4.7%増の804戸となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同81.4%増)」は前年同月を上回りました。一方、「分譲住宅(同55.6%減)」、「持家(同17.8%減)」、「給与住宅(同85.7%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



2024年度累計値では、10.3%増となっています。



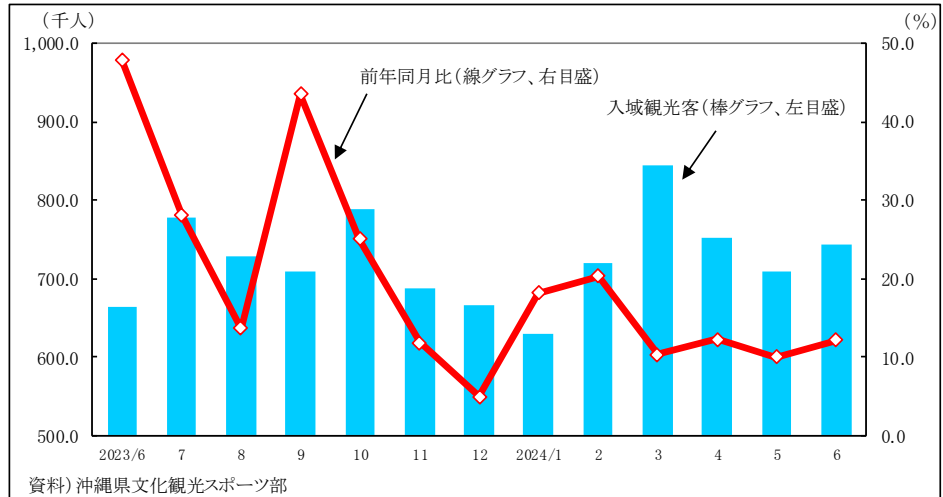
■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2023/6	663.4	47.9
7	778.8	28.1
8	728.6	13.7
9	710.1	43.5
10	788.3	25.0
11	688.2	11.9
12	666.7	5.0
2024/1	629.2	18.2
2	719.2	20.3
3	845.1	10.3
4	752.3	12.3
5	710.0	10.0
6	744.5	12.2

※外国客は乗務員等を含む



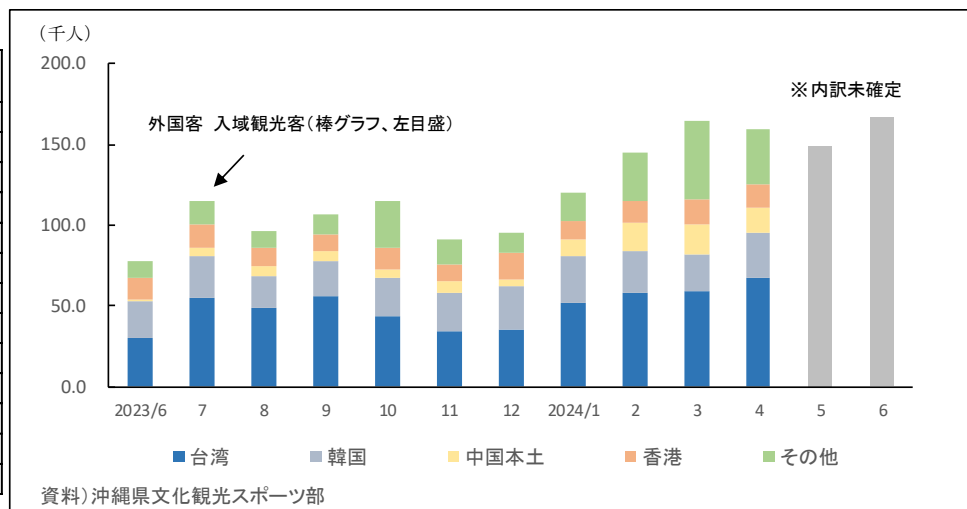
外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。

単位:千人、倍

	入域観光客	前年同月比
2023/6	77.7	N/A
7	115.2	N/A
8	96.4	964倍
9	106.6	N/A
10	115.4	42.7倍
11	91.1	7.5倍
12	95.2	2.9倍
2024/1	120.4	2.7倍
2	144.8	3.3倍
3	164.1	2.6倍
4	158.9	2.4倍
5	148.5	2.1倍
6	166.9	2.1倍

※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比は倍率表示、グラフへの反映はなし。前年が0千人の月はN/Aにて表示。



6月の入域観光客数は、外国人観光客の増加などにより81,100人多い744,500人(前年同月比12.2%増)となり、31ヵ月連続で前年同月を上回りました。一方、国内客は全国旅行支援の反動減などにより8,100人少ない577,600人(前年同月比1.4%減)となりました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、123,700人減少(14.2%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、7,800人増加(1.4%増)となっています。

外国客入域観光客数は、166,900人となりました(空路117,400人、海路49,500人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

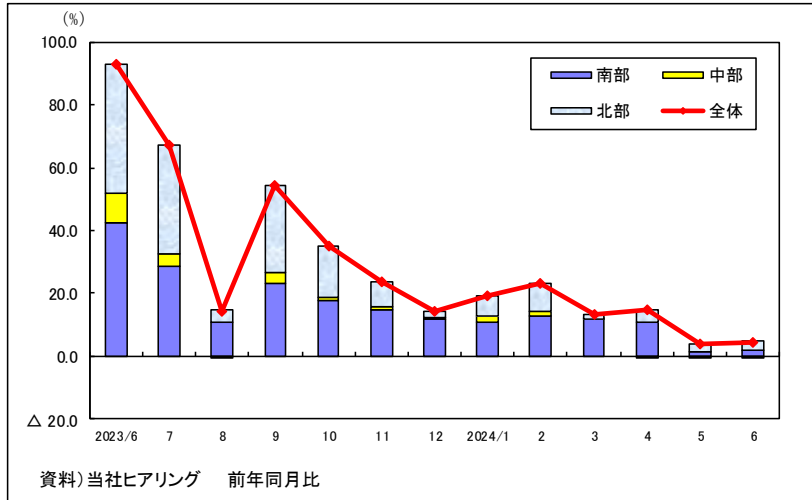
②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2023/6	93.0	121.7	162.4	69.5
7	67.3	105.0	54.0	53.1
8	14.4	40.3	△ 1.3	5.5
9	54.2	77.9	51.1	43.3
10	35.3	51.0	12.1	29.7
11	23.7	36.7	11.3	15.9
12	14.3	34.0	2.8	3.9
2024/1	19.3	32.7	16.3	11.8
2	23.0	35.7	17.8	15.8
3	13.4	35.5	0.1	2.8
4	14.7	30.0	△ 0.4	7.1
5	3.9	3.7	△ 2.3	5.0
6	4.3	4.4	△ 7.4	5.9

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



6月の**観光施設入場者数**は、外国人観光客の増加などにより全体では4.3%増となり27ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は5.9%増、南部の観光施設は4.4%増、中部は7.4%減となりました。

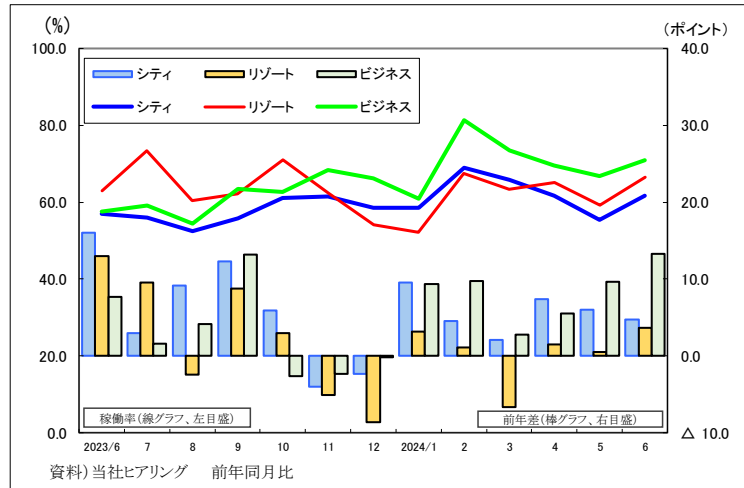
(参考)2019年同月比では、全体で34.0%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は29.4%の減少、南部は37.0%の減少、中部は45.9%の減少となっています。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2023/6	57.0	62.9	57.6	16.0	13.0	7.7
7	55.9	73.4	59.1	2.9	9.5	1.6
8	52.5	60.5	54.4	9.1	△ 2.5	4.1
9	55.8	62.1	63.4	12.3	8.7	13.2
10	61.1	71.1	62.6	5.9	2.9	△ 2.7
11	61.5	62.3	68.3	△ 4.0	△ 5.1	△ 2.4
12	58.5	54.2	66.2	△ 2.4	△ 8.7	△ 0.2
2024/1	58.5	52.2	60.9	9.5	3.1	9.3
2	69.0	67.6	81.3	4.5	1.1	9.7
3	65.8	63.3	73.5	2.1	△ 6.7	2.7
4	61.7	65.2	69.6	7.4	1.5	5.5
5	55.4	59.3	66.8	6.0	0.5	9.6
6	61.7	66.5	70.9	4.7	3.6	13.3

注)シティ7ホテル、リゾート15ホテル、ビジネス4ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 4.7 ポイント増加、リゾートホテルは 3.6 ポイント増加、ビジネスホテルは 13.3 ポイント増加しました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは 16.1 ポイントの減少、リゾートホテルは 11.2 ポイントの減少、ビジネスホテルは 7.6 ポイントの減少となっています。

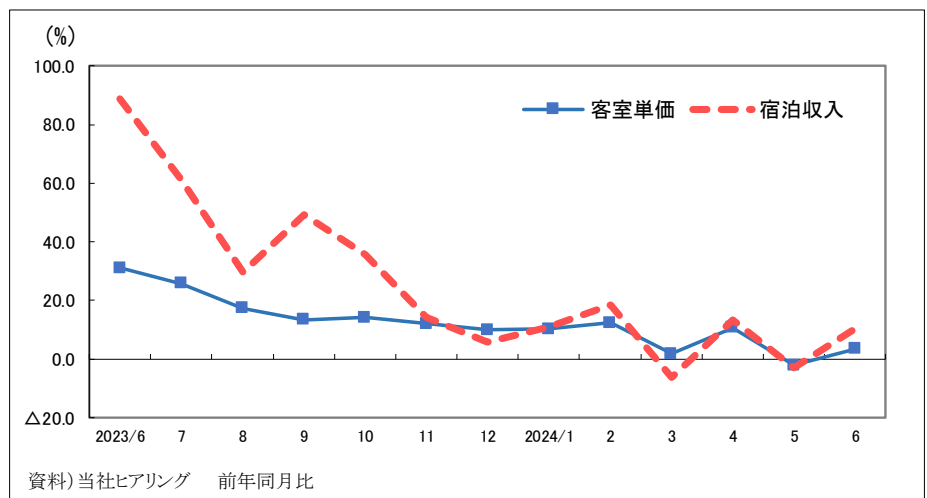
④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 3.4%増と2ヵ月振りに前年同月を上回り、宿泊収入は 10.4%増と2ヵ月振りに前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は 29.9%の増加、客室収入は 3.7%の減少となっています。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2023/6	31.1	88.8
7	25.7	61.4
8	17.3	29.6
9	13.3	49.2
10	14.2	35.7
11	12.1	14.3
12	10.0	5.9
2024/1	10.3	10.9
2	12.4	18.4
3	1.7	△6.4
4	10.7	13.3
5	△2.2	△2.9
6	3.4	10.4



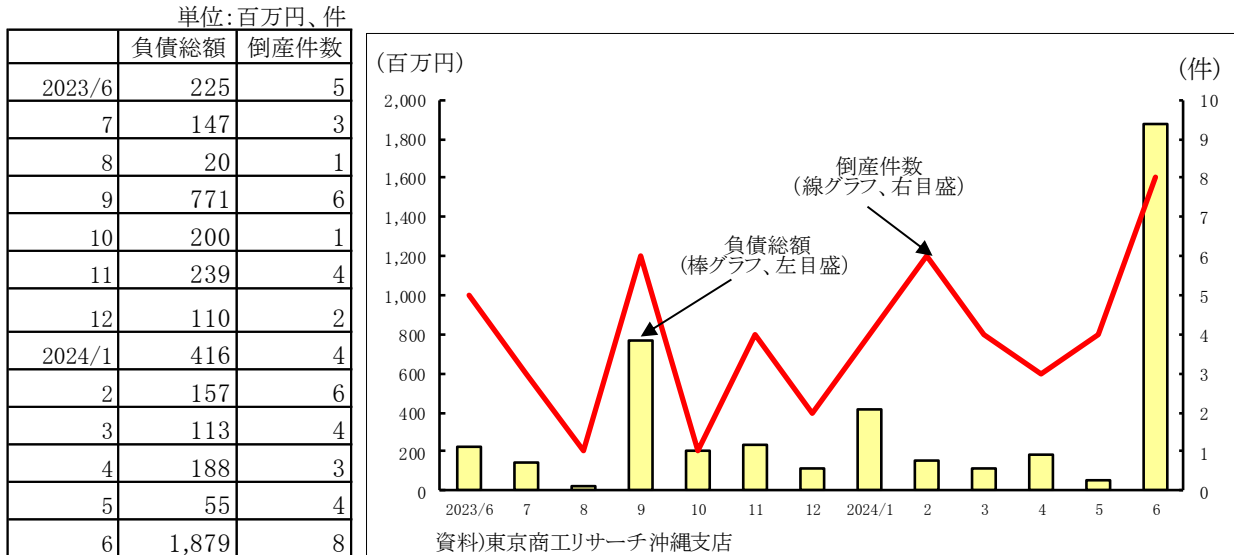
※対象施設数:22施設(シティ7、リゾート15)、ビジネスは除く

※客室単価は22施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。



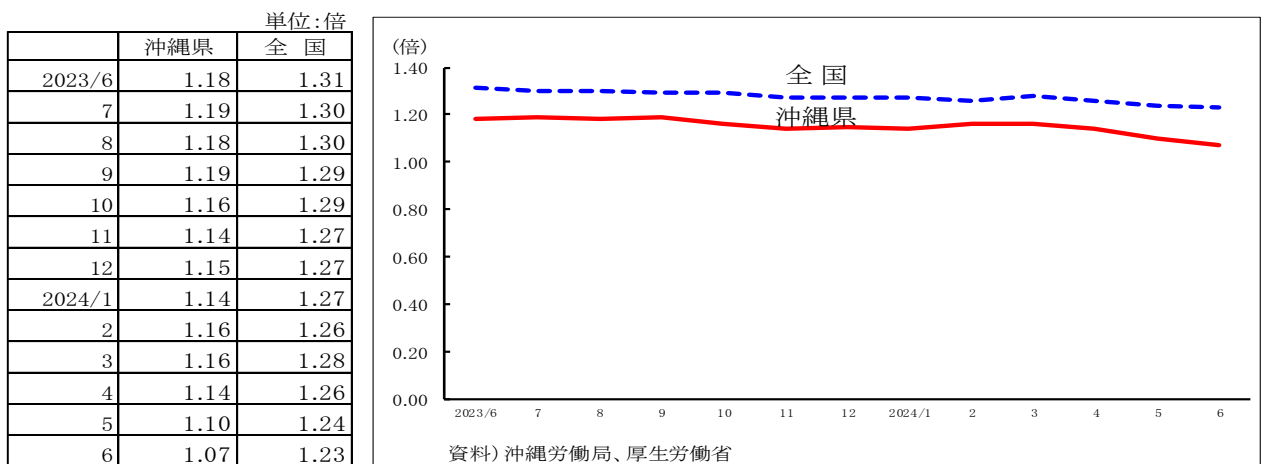
注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

6月の企業倒産件数は8件(うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産は3件)となり、前年同月を60.0%上回りました。

負債総額は18億7,900万円となり、前年同月より735.1%上回りました。

■雇用関連： (やや良い)

① 有効求人倍率・・・沖縄と全国はともに前月より低下。



注) 季節調整済

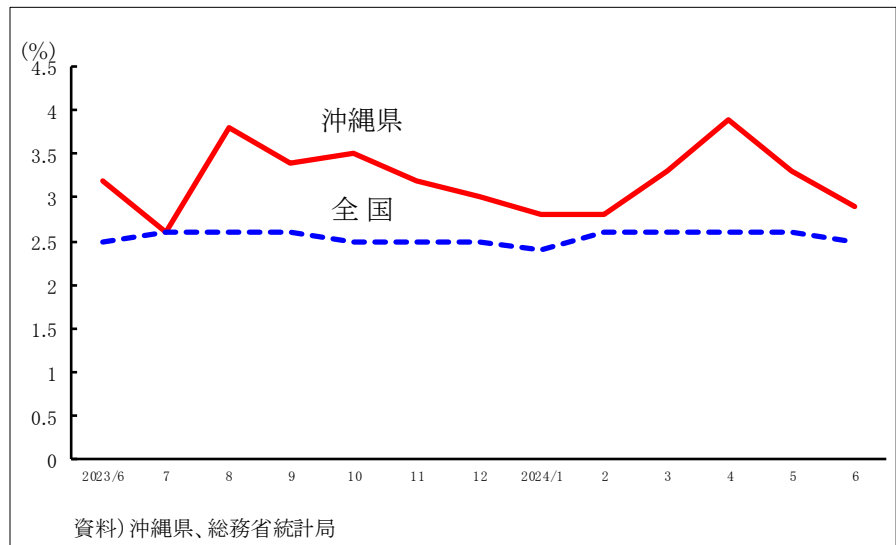
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

6月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.0%減の31,714人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.4%増の29,561人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.07倍と、前月より0.03ポイント低下しました。

② 完全失業率・・・沖縄と全国はともに前月より低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2023/6	3.2	2.5
7	2.6	2.6
8	3.8	2.6
9	3.4	2.6
10	3.5	2.5
11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2024/1	2.8	2.4
2	2.8	2.6
3	3.3	2.6
4	3.9	2.6
5	3.3	2.6
6	2.9	2.5



注) 季節調整済

6月の完全失業率(季節調整値) は、2.9%となり前月より0.4ポイント低下しました。

県内の景気動向

概況（2024年6月）

景気は、緩やかに拡大している（10カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、前年同月に実施された全国旅行支援の反動減は多少あるものの、国内外の旅行需要は引き続き高く、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、緩やかな拡大基調が継続するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、12カ月連続で前年を上回った。お中元ギフトセンターの早期展開やクリアランスセールの実施などにより、食料品や衣料品を中心に好調に推移した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに25カ月連続で前年を上回った。県内客・県外客ともに来店客数の増加がみられ好調に推移した。新車販売台数は、7カ月連続で前年を下回った。一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響は和らいでいるものの、前年同月の反動などにより減少した。家電大型専門店販売額（5月）は、10カ月連続で前年を上回った。

先行きは、新車をはじめとする耐久消費財の先行きに懸念があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積（5月）は、居住用は減少したが、非居住用は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数（5月）は、持家、給与、分譲は減少したが、貸家は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは4カ月連続で前年を下回り、生コンは4カ月ぶりに前年を上回った。鋼材売上高は3カ月連続で前年を上回り、木材売上高は7カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、31カ月連続で前年を上回った。国内客は4カ月連続で減少し、外国客は21カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は3カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入は2カ月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は28カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は6カ月連続で減少し、売上高は4カ月連続で前年を下回った。前年同月の全国旅行支援の反動減や悪天候の影響もみられたが、外国客の増加もあり概ね好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズン到来で国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 5.0%減と 6 カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.07 倍で、前月から 0.03 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 2.9%と、前月から 0.4 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 2.1%の上昇となり、34 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.3%の上昇となった。

倒産件数は 8 件で前年同月から 3 件増加した。負債総額は 18 億 7,900 万円で、前年同月比 735.1%増となった。

りゅうぎん調査（2024年6月）

増減率(%)

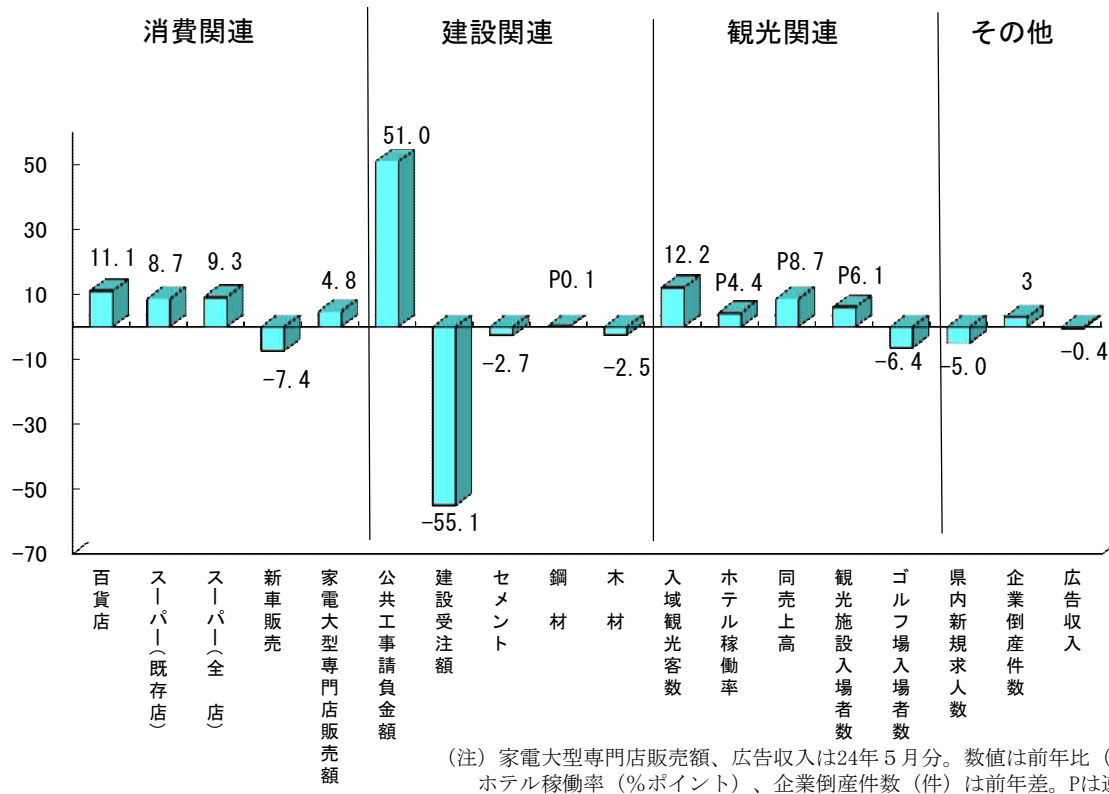
	前年同月比	前年同期比 (2024.4-2024.6)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	11.1	5.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	8.7	4.7
(3) スーパー(全店)(金額)	9.3	5.0
(4) 新車販売(台数)	▲ 7.4	▲ 13.7
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(5月) 4.8	(3-5月) 12.1
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	51.0	30.1
(2) 建築着工床面積(m ²)	(5月) 30.4	(3-5月) 18.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(5月) 4.7	(3-5月) 5.7
(4) 建設受注額(金額)	▲ 55.1	18.3
(5) セメント(トン数)	▲ 2.7	▲ 3.4
(6) 生コン(m ³)	1.0	▲ 3.6
(7) 鋼材(金額)	P 0.1	P 2.9
(8) 木材(金額)	▲ 2.5	2.8
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	12.2	11.3
うち外国客数(人数)	114.8	121.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 4.4 (実数) P 60.1	(前年同期差) P 3.5 (実数) P 57.1
(3) " 売上高(金額)	P 8.7	P 5.2
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 6.1	P 10.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 6.4	▲ 9.5
(6) " 売上高(金額)	▲ 1.2	▲ 3.9
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 5.0	▲ 6.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.07	1.10
(3) 消費者物価指数(総合)	2.1	2.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(5月) ▲ 0.4	(3-5月) 0.9

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

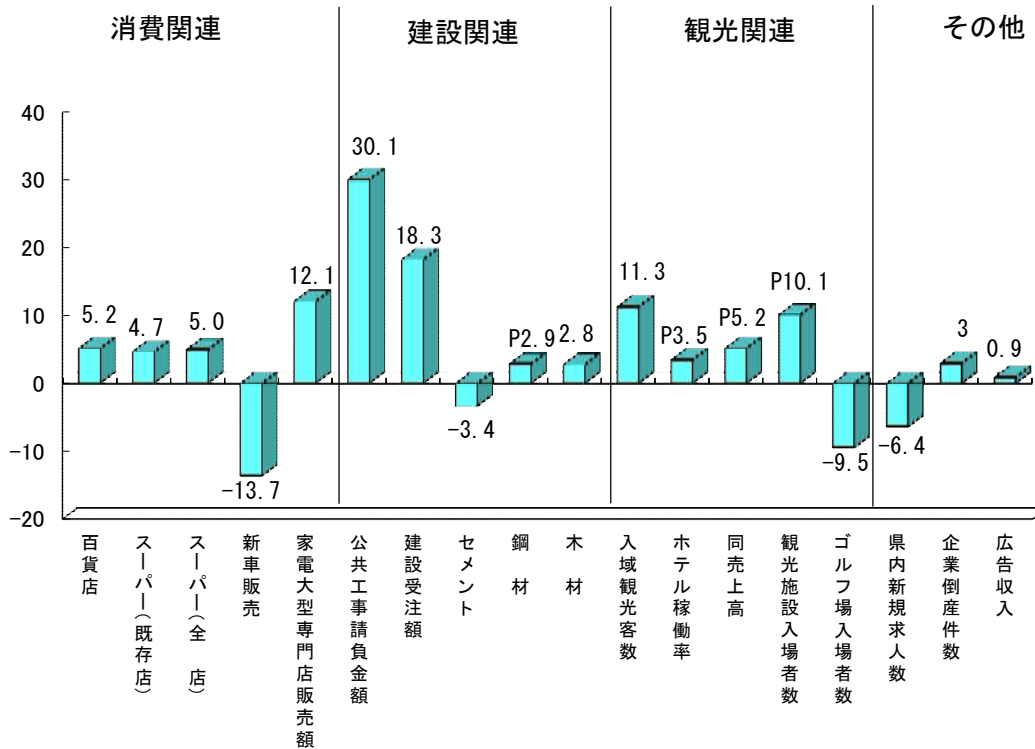
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2024年6月)

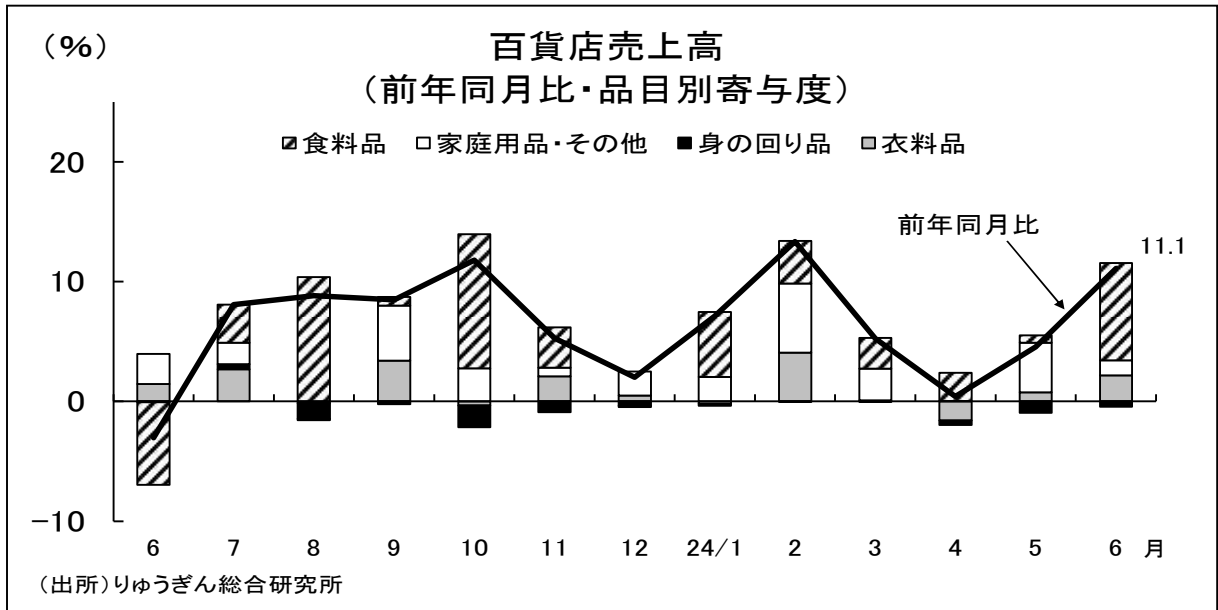


項目別グラフ(3カ月、2024年4月～2024年6月)



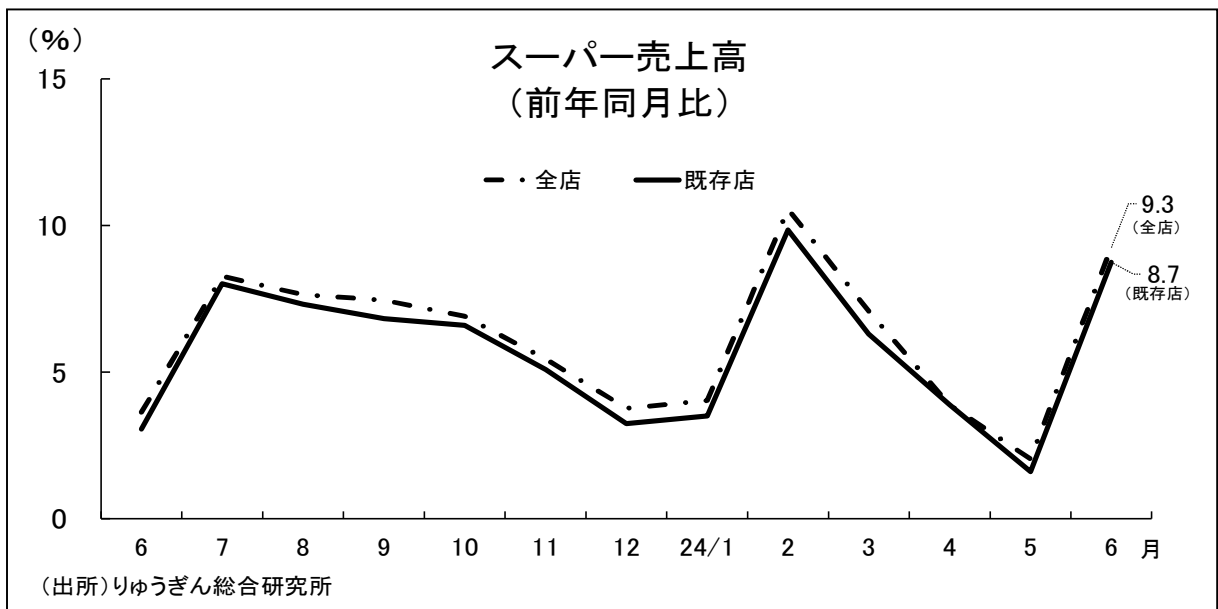
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：12 カ月連続で増加



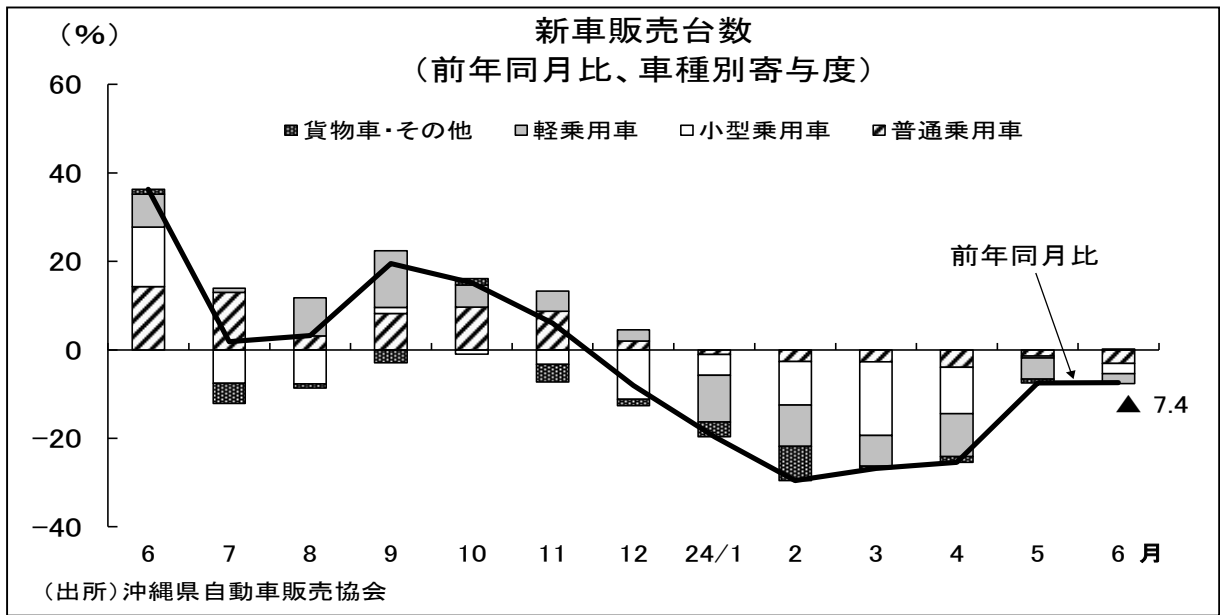
- 百貨店売上高は、前年同月比 11.1%増と 12 カ月連続で前年を上回った。
- お中元ギフトセンターの早期展開やクリアランスセールの実施、注目度の高い催事企画などによる集客効果がみられ、食料品や衣料品を中心に好調に推移した。免税では、化粧品などの雑貨類が好調となり、売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、食料品が同 25.2%増、衣料品が同 6.9%増、家庭用品・その他が同 4.1%増、身の回り品が同 7.0%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 25 カ月連続で増加



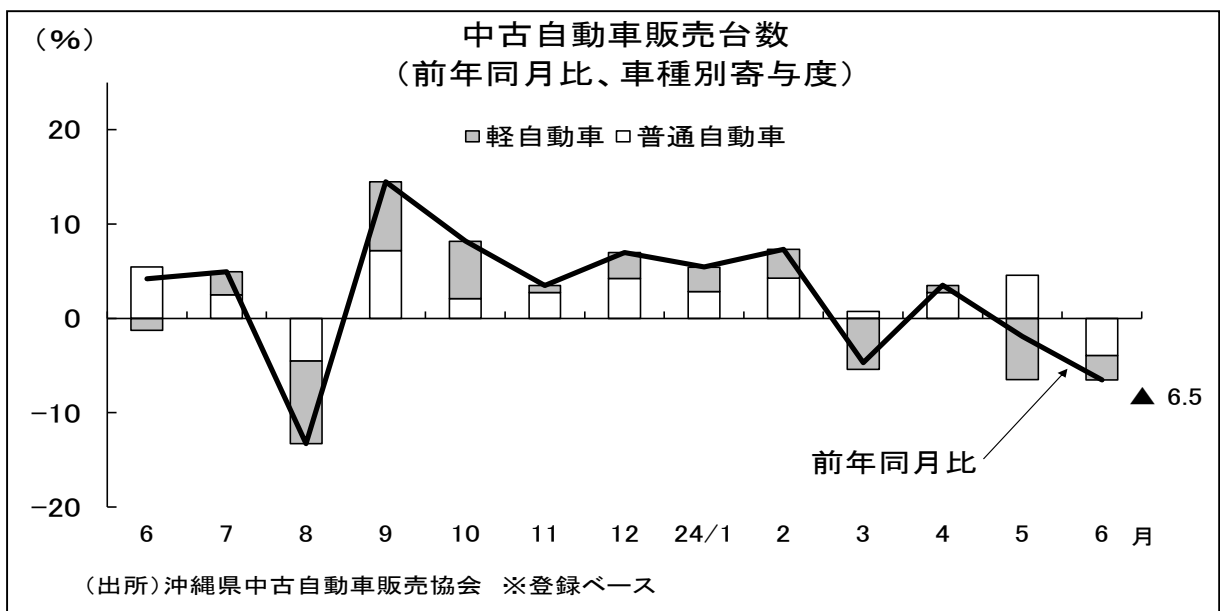
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 8.7%増と 25 カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、県内客・県外客ともに来店客数が増加し、消費マインドは底堅く推移した。衣料品は、梅雨明け以降、水着や浴衣など季節商材が好調となり同 11.4%増、食料品は同 8.2%増、住居関連は同 10.3%増となった。
- 全店ベースは同 9.3%増と 25 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：7カ月連続で減少



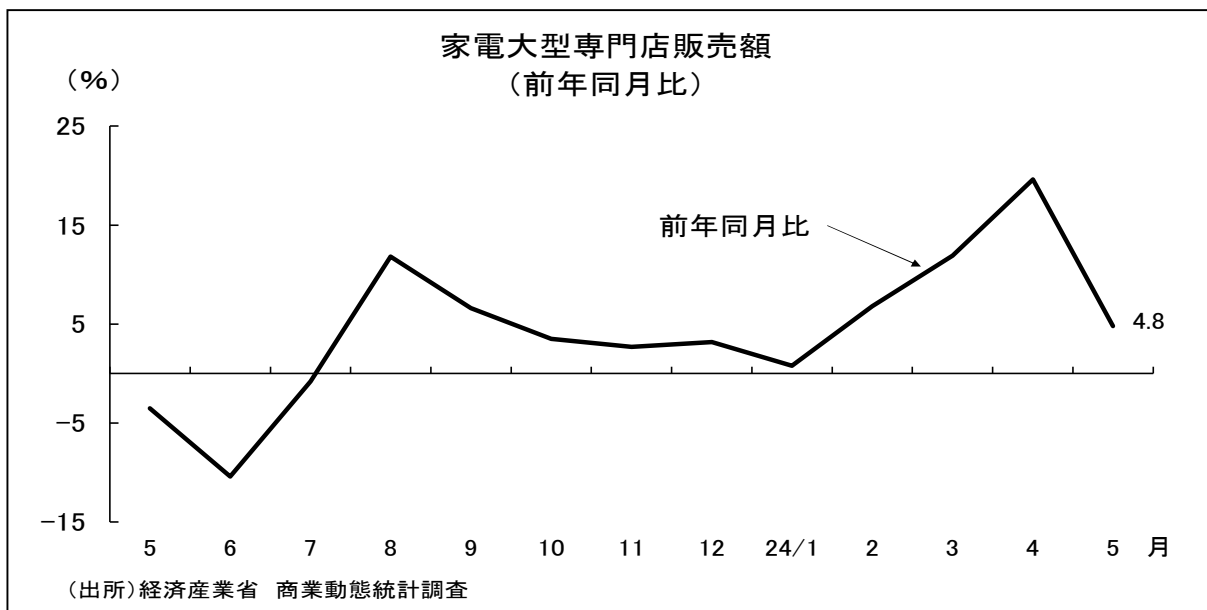
- ・ 新車販売台数は4,385台で前年同月比7.4%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・ 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響は和らいでいるものの、レンタカーや乗用車など全車種が増加した前年同月の反動などにより前年を下回った。
- ・ 普通自動車(登録車)は2,646台(前年同月比9.8%減)で、うち普通乗用車は906台(同14.0%減)、小型乗用車は1,583台(同6.4%減)であった。軽自動車(届出車)は1,739台(同3.5%減)で、うち軽乗用車は1,350台(同7.3%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：2カ月連続で減少



- ・ 中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は、1万7,614台で前年同月比6.5%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,350台(前年同月比9.1%減)、軽自動車が1万264台(同4.5%減)となった。

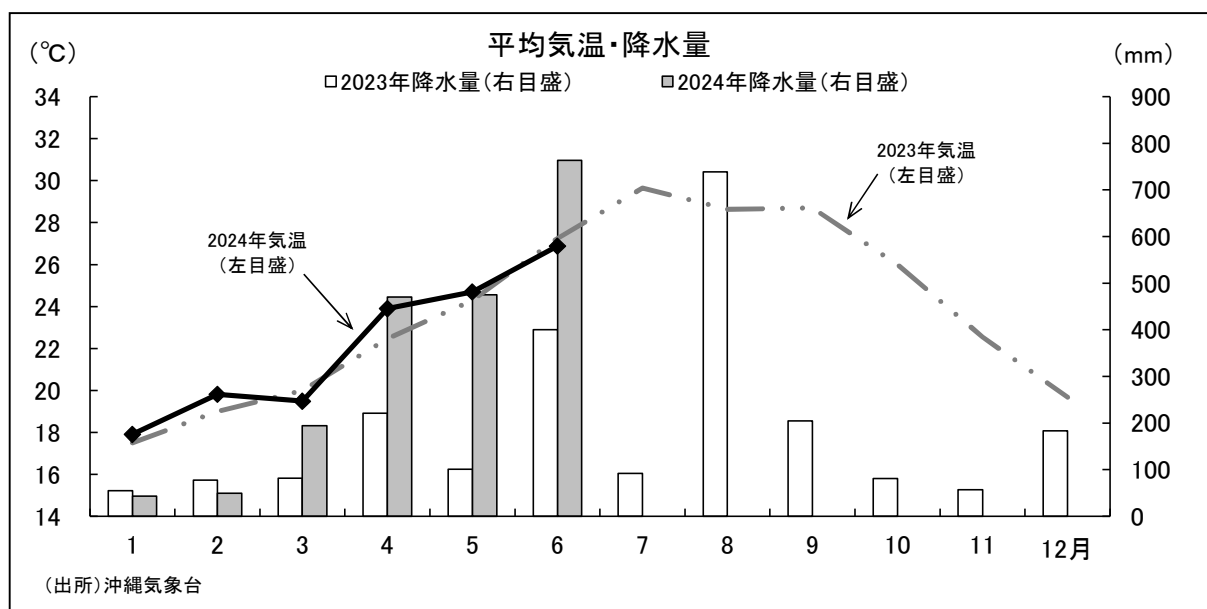
(5) 家電大型専門店販売額（再掲）：10カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（5月）は、前年同月比4.8%増と10カ月連続で前年を上回った。
- ・ 6月より適用される県の補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」の開始を前に、対象となるエアコンや冷蔵庫の買い控えがみられたものの、値上げによる単価上昇などにより前年を上回った。

(参考)

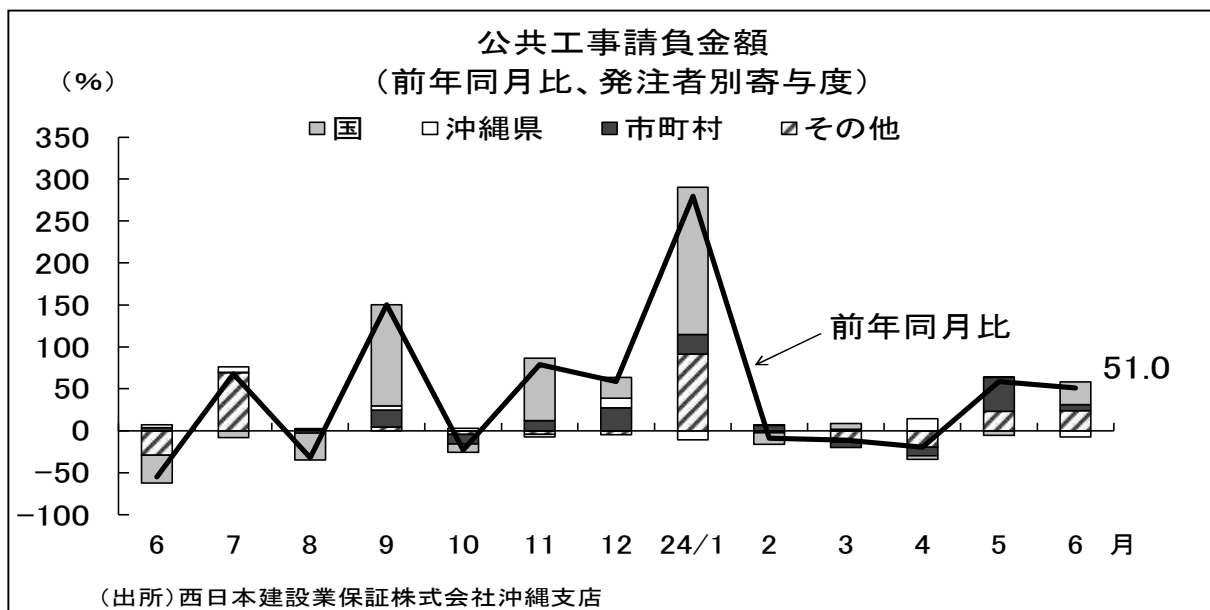
◇ 気象:平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は26.9°Cで前年同月(27.2°C)より低く、降水量は763.5mmで前年同月(407.0mm)より多かった。
- ・ 月の中旬までは、梅雨前線や南からの暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多かった。沖縄地方では6月20日ごろ梅雨明けしたとみられ、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・ 平均気温は平年並み、日照時間は平年より少なく、降水量は平年よりかなり多かった。

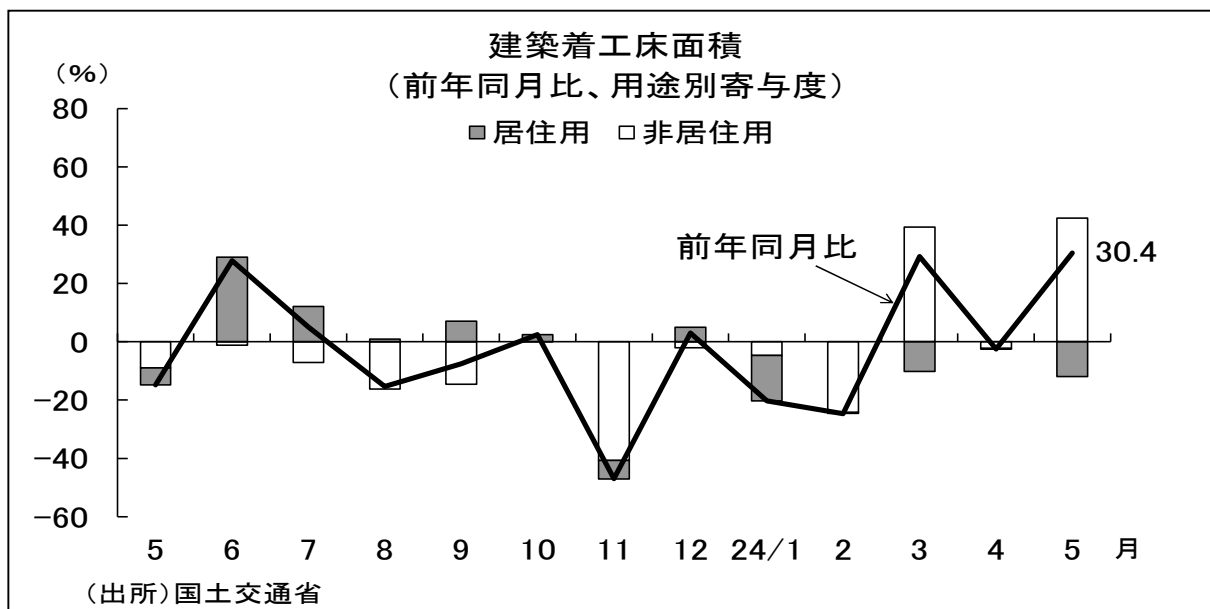
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月連続で増加



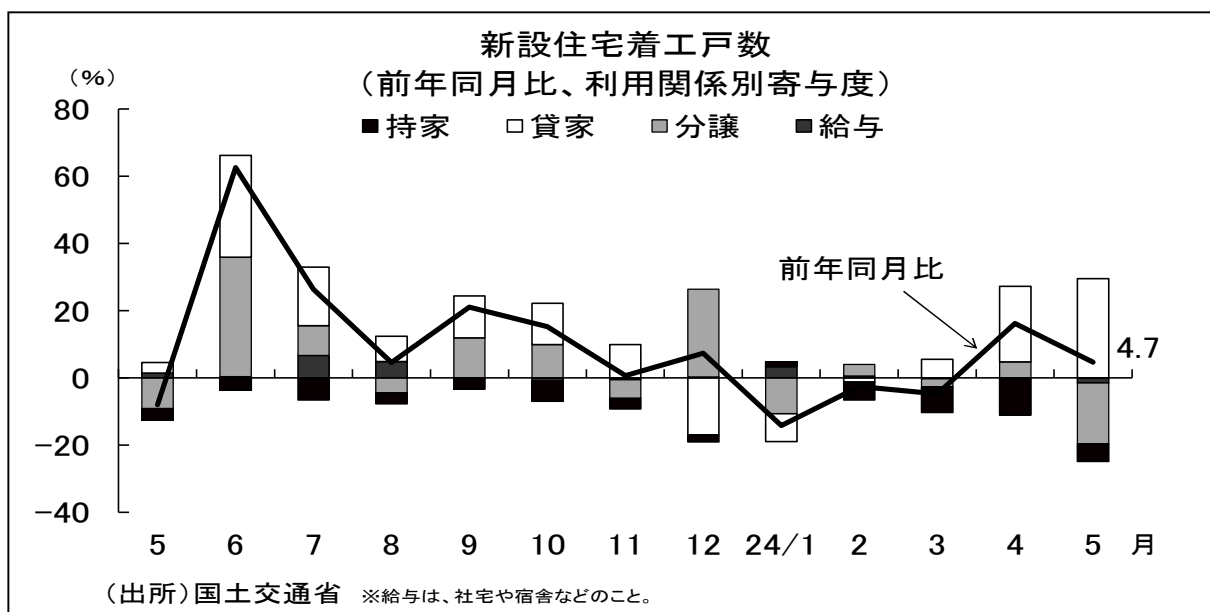
- 公共工事請負金額は、340億88百万円で前年同月比51.0%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国は同107.3%増、市町村は同18.6%増、独立行政法人等・その他は同286.6%増と増加し、県は同25.9%減と減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月ぶりに増加



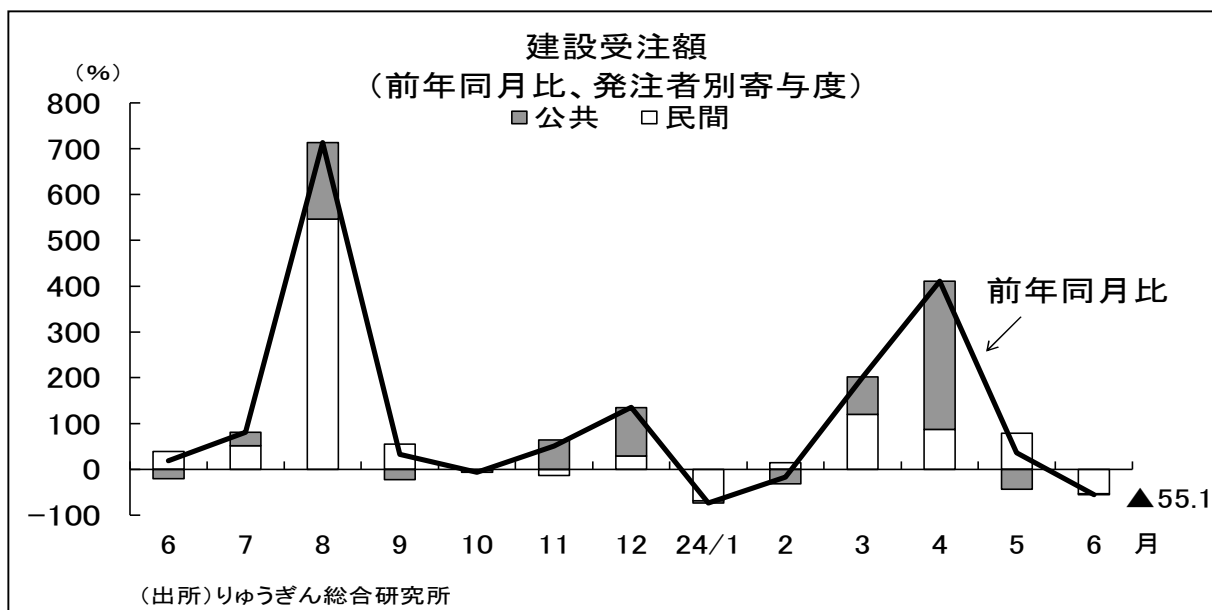
- 建築着工床面積（5月）は14万9,989㎡で前年同月比30.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。居住用は同20.1%減と減少し、非居住用は同104.1%増と増加した。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、教育・学習支援業用、卸売・小売業用などが増加し、電気・ガス・熱供給・水道業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



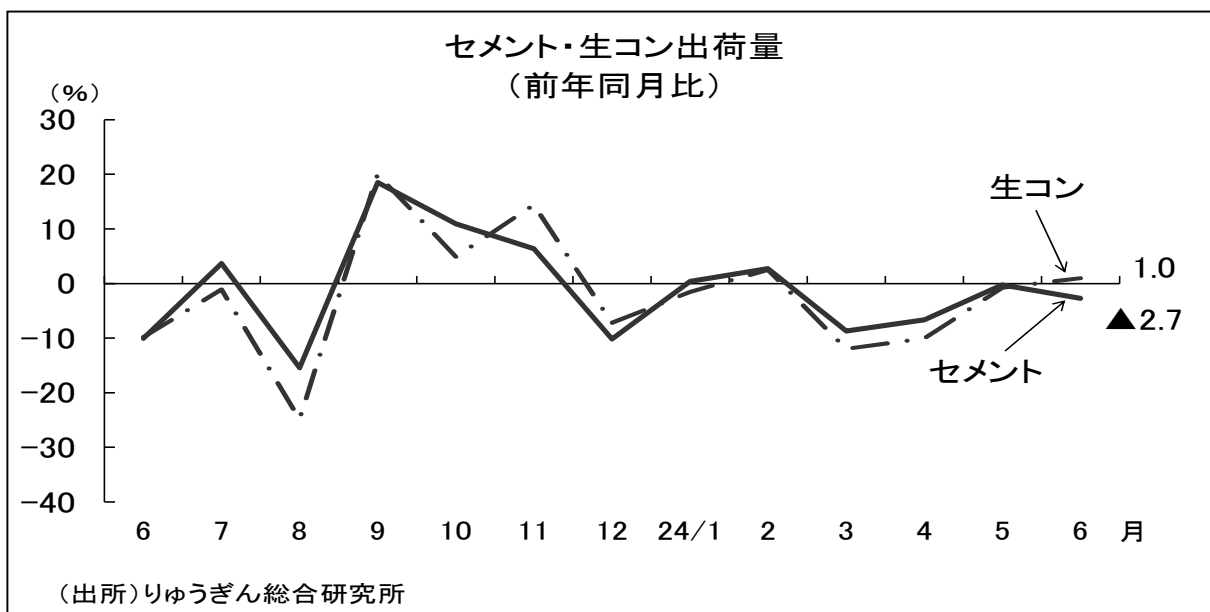
- ・ 新設住宅着工戸数（5月）は804戸で前年同月比4.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（506戸）が同81.4%増と増加し、持家（185戸）が同17.8%減、給与（2戸）が同85.7%減、分譲（111戸）が同55.6%減と減少した。

(4) 建設受注額：4カ月ぶりに減少



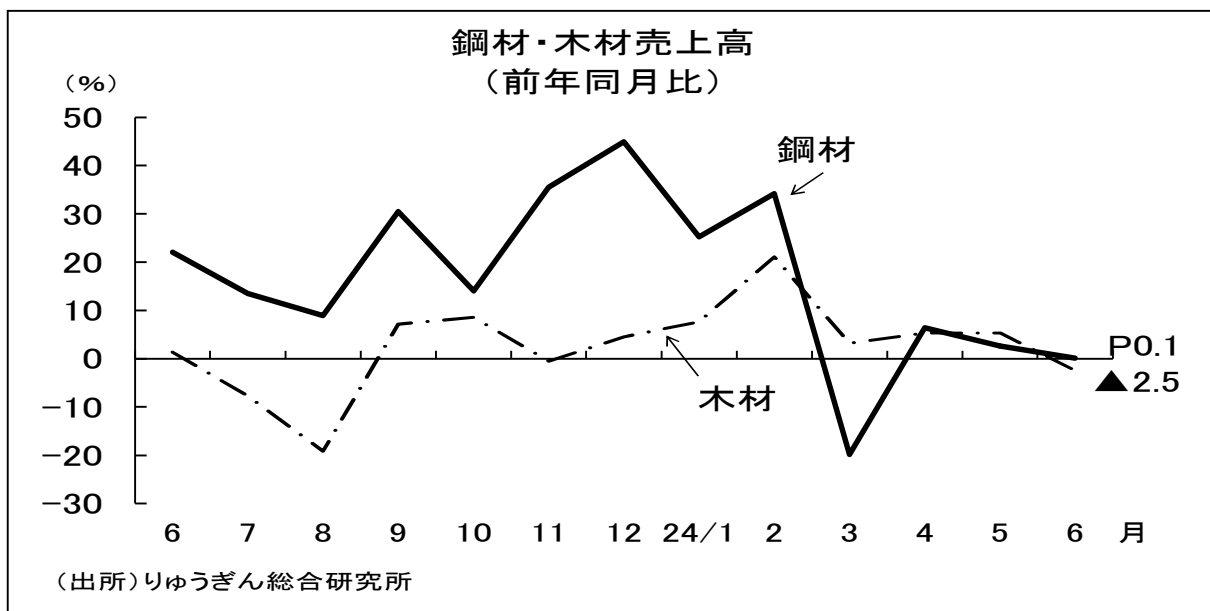
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比55.1%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同9.3%減と2カ月連続で減少し、民間工事は同64.5%減と5カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは4カ月連続で減少、生コンは4カ月ぶりに増加



- ・セメント出荷量は5万4,896トンとなり、前年同月比2.7%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は9万1,562 m³で同1.0%増と4カ月ぶりに前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅向け、県企業局向けなどが増加し、学校関連向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向け、店舗向けなどが増加し、個人住宅向けなどが減少した。

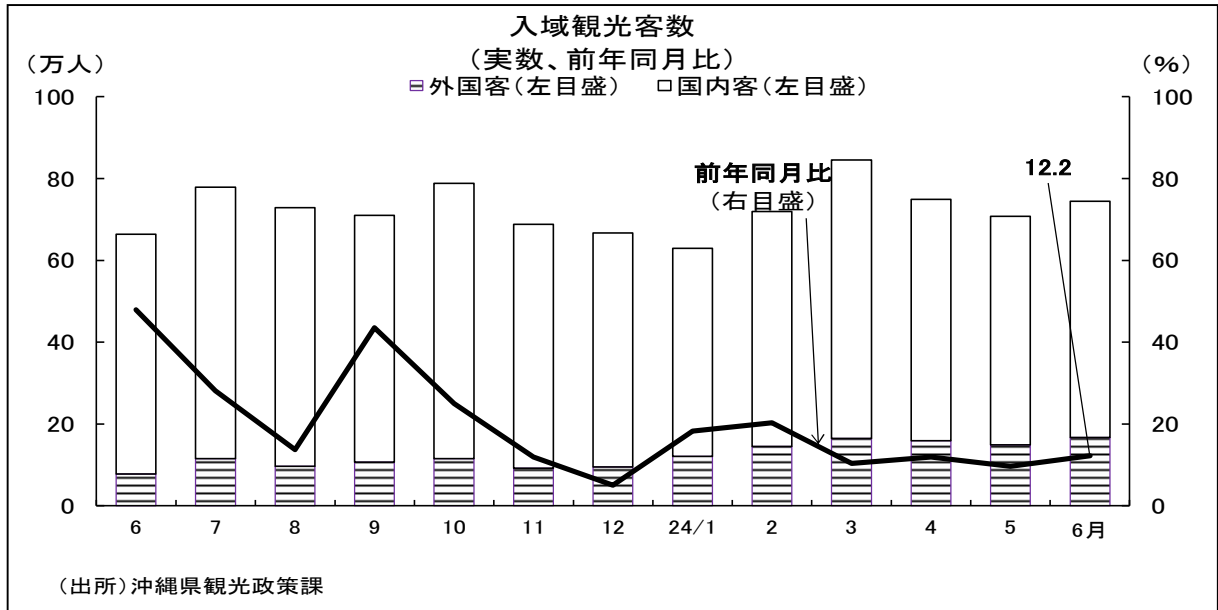
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月連続で増加、木材は7カ月ぶりに減少



- ・鋼材売上高（速報値）は、前年同月比0.1%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同2.5%減と7カ月ぶりに前年を下回った。

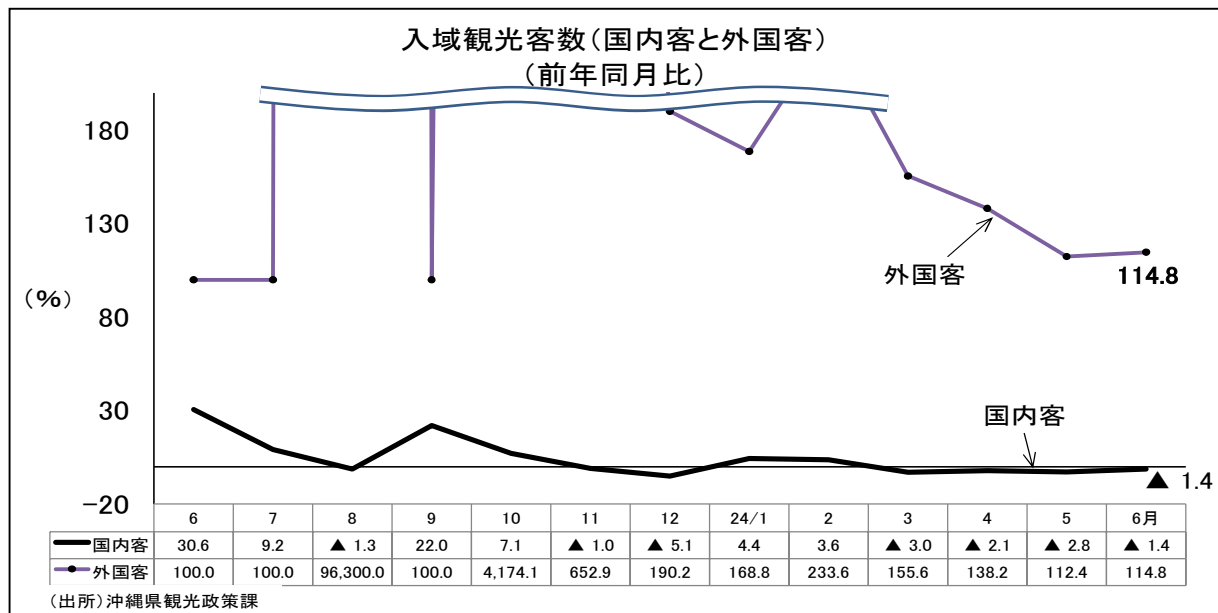
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：31カ月連続で増加



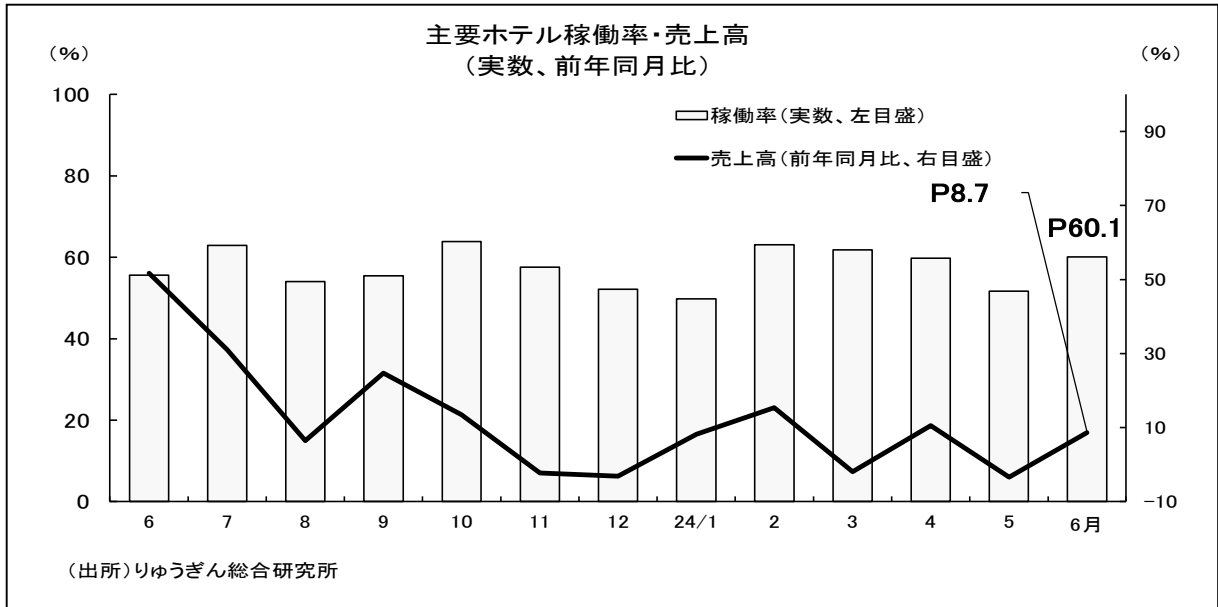
- 入域観光客数は、74万4,500人(前年同月比12.2%増)となり、31カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は68万9,700人(同6.9%増)となり31カ月連続で前年を上回った。海路は5万4,800人(同204.4%増)となり22カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数(国内客、外国客)：国内客は4カ月連続で減少、外国客は21カ月連続で増加



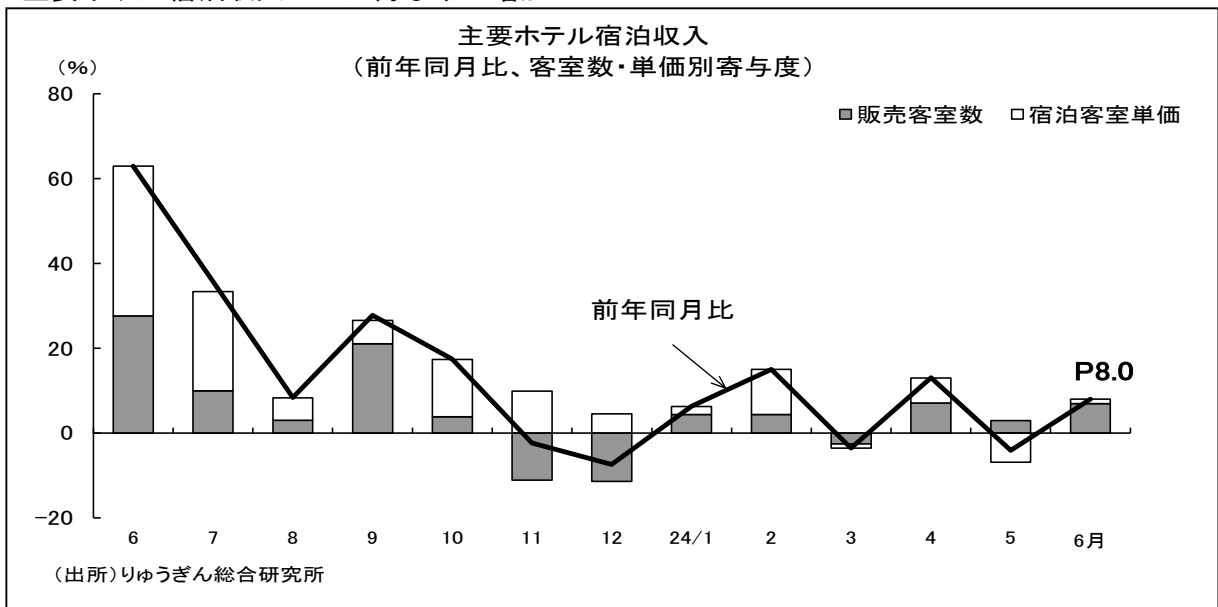
- 国内客は、57万7,600人(前年同月比1.4%減)となり、4カ月連続で前年を下回った。外国客は16万6,900人(同114.8%増)となり、21カ月連続で増加した。
- 前年同月も延長実施された全国旅行支援の反動減等により国内客は前年比では減少したものの、外国客の旅行需要は引き続き高かった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は3カ月連続で上昇、売上高は2カ月ぶりに増加



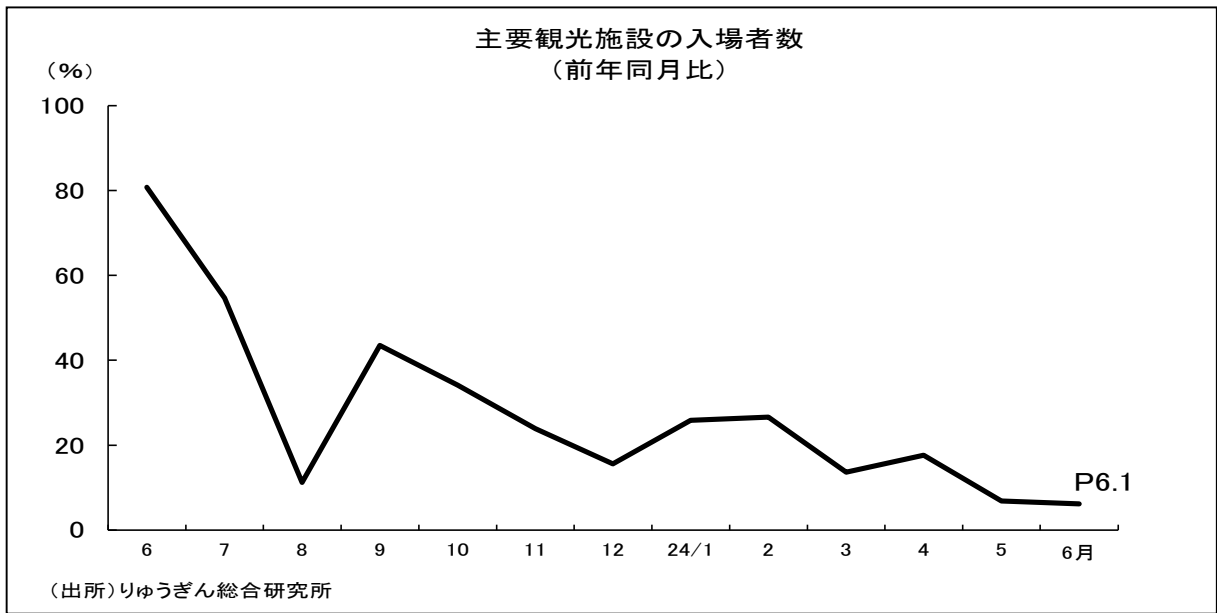
- 主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は60.1%と前年同月差4.4%ポイント上昇し3カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比8.7%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 那覇市内ホテルの客室稼働率は64.4%と同8.9%ポイント上昇し、6カ月連続で前年を上回り、売上高は同19.5%増と7カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は58.4%と同2.8%ポイント上昇し、3カ月連続で前年を上回り、売上高は同6.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：2カ月ぶりに増加



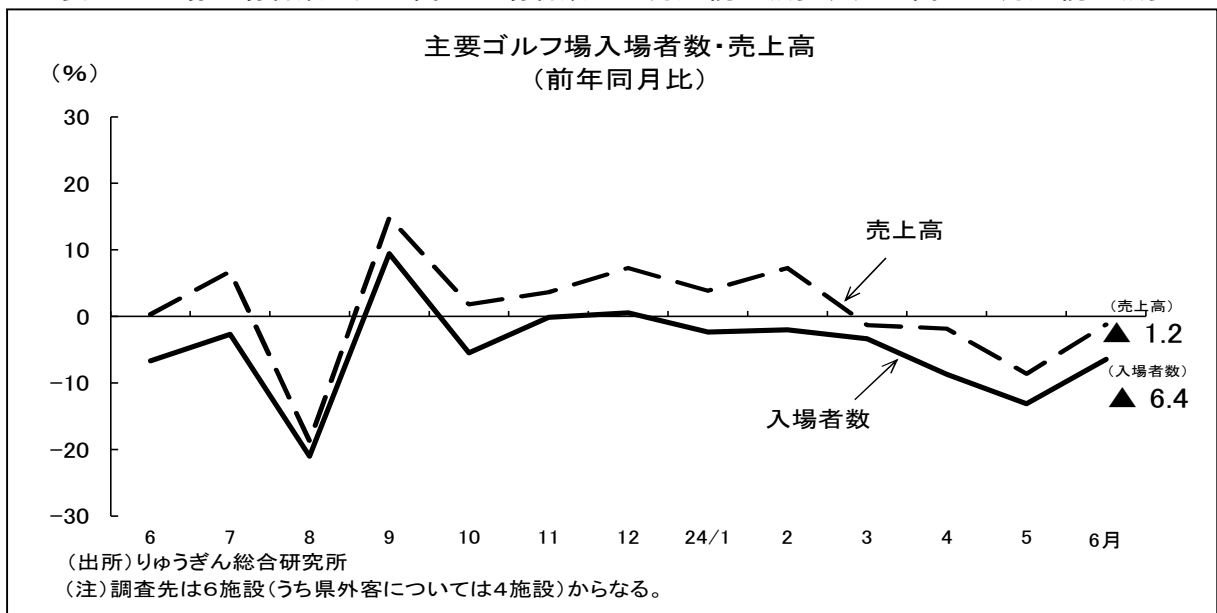
- 主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比8.0%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価は上昇し同17.4%増となり、6カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）は販売客室数が増加、宿泊単価は上昇し、同6.5%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：28 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 6.1%増と 28 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 悪天候の日が多かったものの、慰霊の日もあり関連施設への県内小中学校の校外学習があったほか、一般団体客も増加傾向にあった。

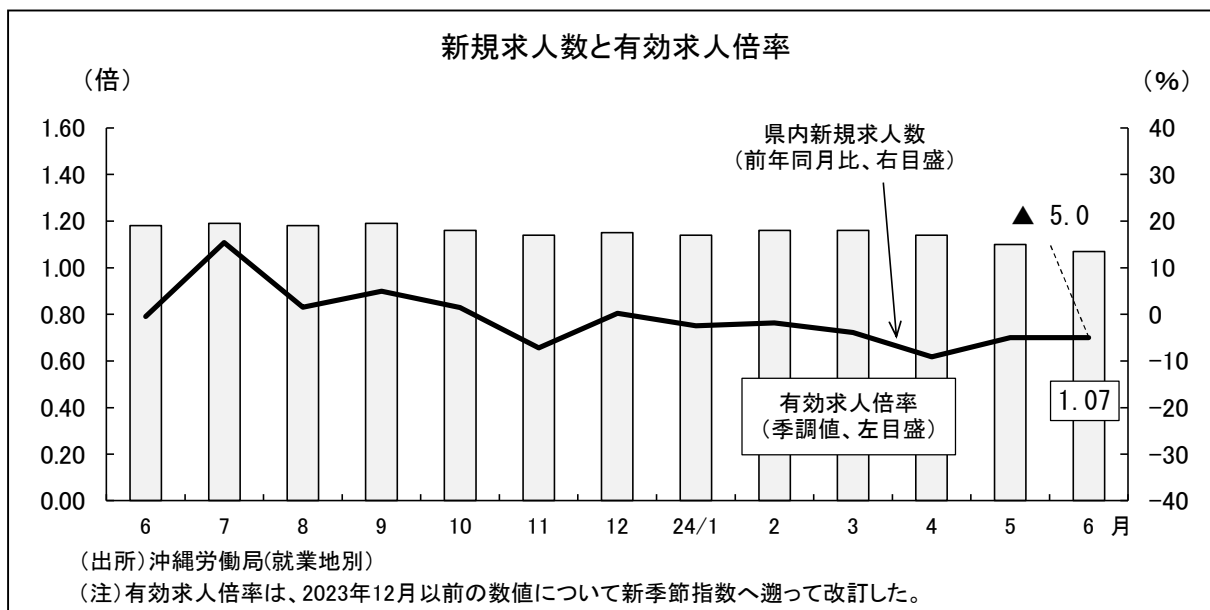
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数 6 カ月連続で減少、売上高 4 カ月連続で減少



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 6.4%減と 6 カ月連続で前年を下回った。県内客は 3 カ月連続で前年を下回り、県外客は 9 カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同 1.2%減と 4 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 豪雨の影響でクローズした日もあったほか、天候不良やコロナ罹患などによる直前のキャンセルも多く、入場者・売上ともに減少した。

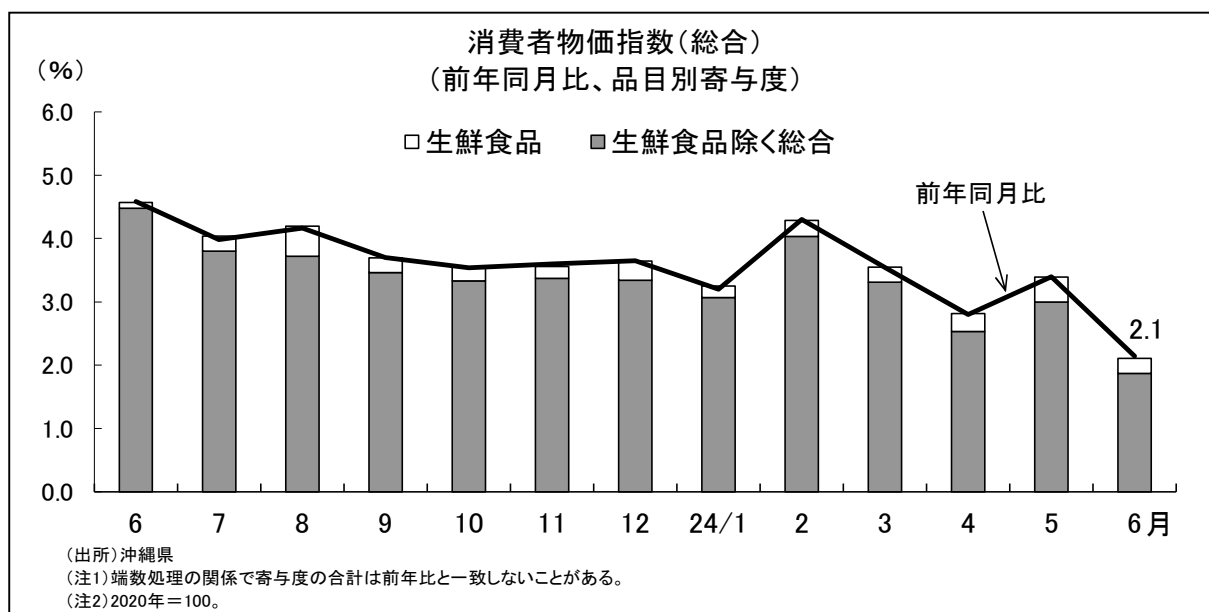
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



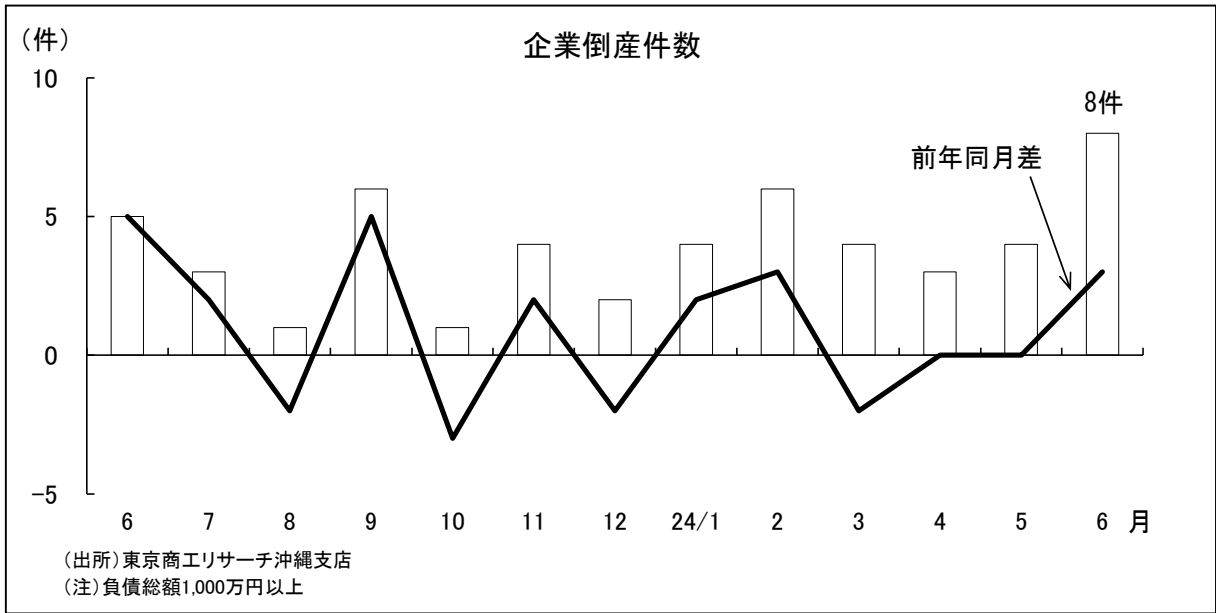
- 新規求人数は、前年同月比 5.0%減と 6 カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.07 倍で、前月から 0.03 ポイント低下した。
- 労働力人口は、78 万人で前年同月比 0.1%減となり、就業者数は、75 万 8,000 人で同 0.1%増となった。完全失業者数は 2 万 2,000 人で同 8.3%減となり、完全失業率（季調値）は 2.9%と、前月から 0.4 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：34 カ月連続で上昇



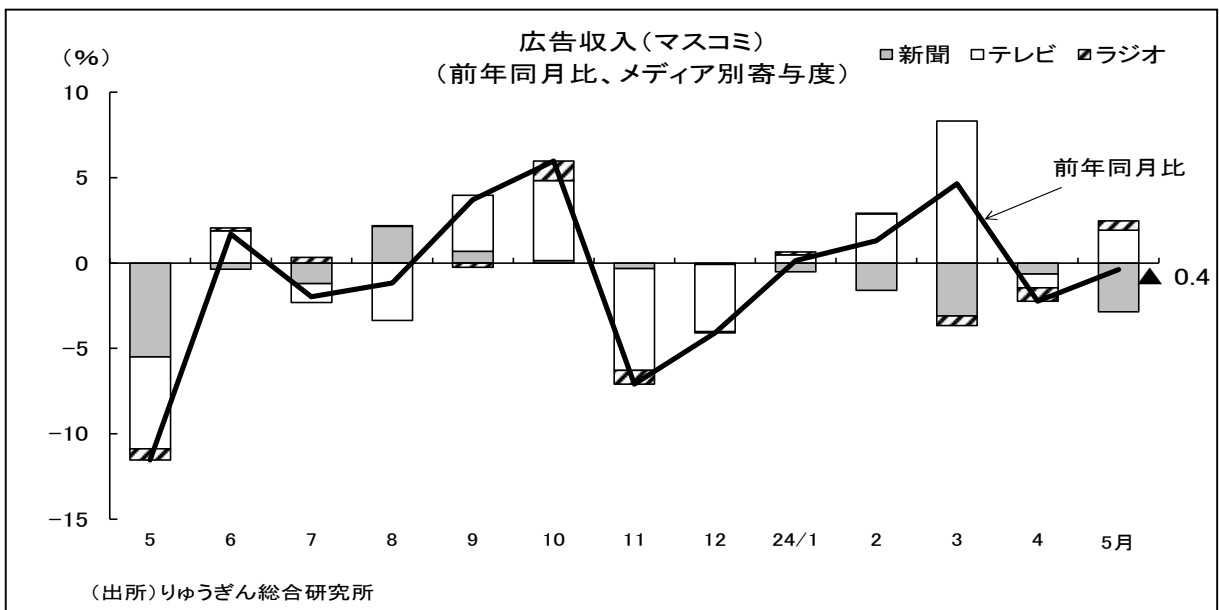
- 消費者物価指数は、前年同月比 2.1%の上昇となり、34 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.3%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料や交通・通信などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数・負債総額ともに増加



- 倒産件数は8件で前年同月から3件増加した。業種別では、建設業3件、製造業1件、小売業1件、情報通信業2件、サービス業他1件となった。
- 負債総額は18億7,900万円で、前年同月比735.1%増となった。

(4) 広告収入 (マスコミ)：2カ月連続で減少



- 広告収入 (マスコミ：5月) は、前年同月比0.4%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 引き続き通販関連の広告に減少がみられた。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2023 5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	-	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3ヵ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	203.5	0.0	▲ 2.3
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	208.1	0.0	▲ 2.3
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	206.9	▲ 6.9	▲ 2.3
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	234.0	0.0	▲ 2.3
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	P25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	P34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	P▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	P6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	P2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	-	-	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	P62.9	3.3
2023 5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	94.4	12.3
6	663.4	47.9	77.7	100.0		55.4	52.3	51.6	80.7	▲ 6.6
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	54.7	▲ 2.7
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	11.2	▲ 21.0
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	P50.2	17.6	P▲6.5	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	P58.4	19.5	P6.8	P6.1	▲ 6.4
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2023 5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	▲ 11.5
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1.7
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	▲ 2.0
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	▲ 1.2
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2023 5	155	419	▲ 264	1.333	61,841	2.8	61,098	2.7	41,518	1.5
6	187	286	▲ 98	1.329	62,029	2.1	61,274	2.0	41,570	1.6
7	196	279	▲ 83	1.325	62,316	2.3	61,590	2.2	41,630	1.6
8	246	364	▲ 117	1.325	62,275	2.4	61,531	2.4	41,559	1.3
9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	-	-	-	-	-	-	62,838	2.6	42,858	3.1
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	-	-	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2023 5	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1	72.8	2.8	1,147	10,583
6	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1	72.9	▲ 0.4	1,429	20,164
7	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3	70.4	0.3	1,943	47,767
8	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5	1,326	36,444
9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	-	-	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	-	-	7,384	25,091
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。